Canon

A4デジタル複合機

Satera D350

ファクスガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本機の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本機を十分にご活用ください。

内容	分冊
本機をセットアップするには CARPSプリンタドライバをインストールする	セットアップガイド
原稿と用紙の取り扱いについて CARPSプリンタドライバで印刷するには コピーするには メンテナンスについて 給紙とコピーで困ったときには	ユーザーズガイド
ファクスを送受信するには スピードダイヤルを使うには ファクスで困ったときには	ファクスガイド（D350のみ）
ファクスドライバをインストールする ファクスドライバを使ってファクスを送信する Cover Sheet Editorを使用するには	ファクスドライバガイド（D350のみ）
CARPSプリンタドライバをインストールする プリンタの状態を確認する プリンタドライバで困ったときには	プリンタドライバガイド CD-ROM

このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

商標

キヤノンはキヤノン株式会社の登録商標です。UHQ™ は キヤノン株式会社の商標です。

“スーパーG3ファクス”とは、国際電気通信連合（ITU-T）のV.34勧告に準拠する33.6 Kbps*モデムを搭載した新世代ファクスのことです。スーパーG3ファクスは、およそ3秒/ページ*の高速送信を実現し、回線コストの削減に優れた効果を発揮します。

*キヤノンFAX標準チャートNo.1に基づくデータ送信（JBIG方式と標準モードを使用）で、モデムスピードが33.6 Kbpsの場合、およそ3秒/ページ。なお、現在の公衆回線網（PSTN）では、回線品質によってモデム速度の上限が28.8 Kbpsになる場合もあります。

目次

マーク、表記について

本書中のマークや表記には、次のような意味があります。

警告
- **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意
- **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

重要
- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や破損を防ぐために、必ずお読みください。

メモ
- 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

(→n-nnページ)	かっこ内のページを参照してください。
→「セットアップガイド」	セットアップガイドを参照してください。
→「ユーザーズガイド」	ユーザーズガイドを参照してください。
本機	A4デジタル複合機 Satera D350を表します。
初期設定	工場出荷時の設定。変更しないかぎり、この設定が使われます。
原稿またはファクス	送信または受信する原紙です。
メニュー	本機を設定または変更するときに選ぶ設定項目のリストです。LCDディスプレイに表示されます。
受付番号	本機では、送受信したファクスそれぞれに4桁の通し番号が自動的につけられます。送受信の結果を調べるときなど、この受付番号でファクスを区別できます。
TX	送信を表します。
RX	受信を表します。

本書では、操作パネル上のキーとLCDディスプレイの表示内容を、他の文字と区別した書体で表記しています。
- 操作パネル上のキーは、次の書体で表記しています。
  例：**ストップ/リセット**
- LCDディスプレイの表示内容は、「　」で囲み、次の書体で表記しています。
  例：「ファクス　キノウ　セッテイ」

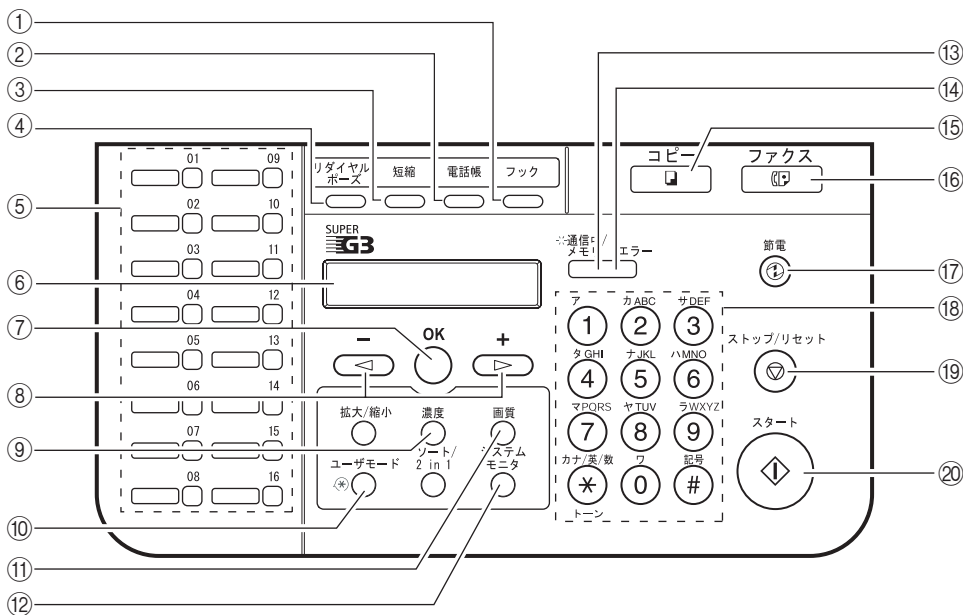
ご使用の前に

アフターサービスについて

本機は最新の技術を使い、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。何か問題が発生したときは、まず「9章 困ったときには」を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）までお問い合わせください。

操作パネル

ファクスを送受信するときおよびユーザモードの設定に使うキーについて説明します。ここで説明していないキーについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

■ ワンタッチダイヤルパネルを閉じた状態

① ［フック］キー
受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

② ［電話帳］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した相手先のファクス/電話番号を、名前で検索するときに使います。

③ ［短縮］キー
このキーを押して、2桁の短縮番号を押すと、その番号に登録されているファクス/電話番号またはグループにダイヤルします。

④ **［リダイヤル/ポーズ］キー**
最後にテンキーでダイヤルした番号にもう一度ダイヤルします。テンキーで入力中のファクス番号や、スピードダイヤルの登録番号中または末尾に、ポーズを入れるときにも使います。

⑤ **［ワンタッチ］キー**
01～16のキーに登録されているファクス番号/電話番号、またはグループにダイヤルします。

⑥ **LCDディスプレイ**
メッセージや動作状況が表示されます。設定を行うときは、選択項目や、文字、数字などが表示されます。

⑦ **［OK］キー**
各種の登録や設定を確定するときに押します。ADF（自動原稿給紙装置）の途中で止まってしまった原稿を自動排紙するときにも押します。

⑧ **［◀(−)、▶(+)］キー**
表示をスクロールして、他の設定を見るときに押します。また、文字や数字の入力時、カーソルを移動して修正あるいは削除をすることもできます。

⑨ **［濃度］キー**
ファクスの露光を調整します。

⑩ **［ユーザモード］キー**
各種の登録や機能の設定をするときに押します。

⑪ **［画質］キー**
ファクスの送信解像度を調整します。

⑫ **［システムモニタ］キー**
ファクス／コピー／印刷／レポート出力の状態をチェックするときに使います。

⑬ **通信中/メモリランプ**
ファクスの送信中または受信中に点滅（グリーン）します。ファクスの送信予約、またはメモリ受信したときに点灯（グリーン）します。

⑭ **エラーランプ**
紙づまりなど、エラーが発生したときに点滅（赤）します。（LCDディスプレイにエラーの状態を表示します。）

⑮ **［コピー］キー**
コピーモードに切り替えるときに押します。

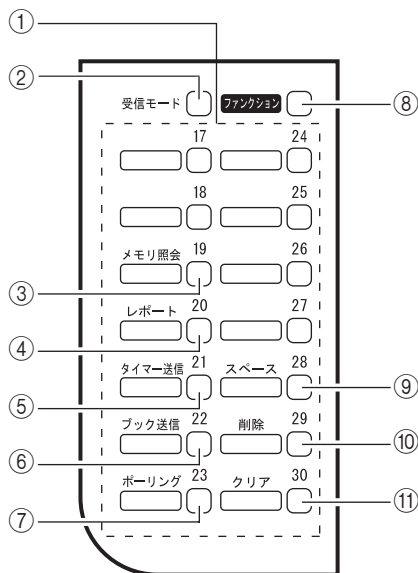
⑯ **［ファクス］キー**
ファクスモードに切り替えるときに押します。

⑰ **［節電］キー**
手動で本機を節電モードにするときや、節電モードから復帰するときに押します。節電モードのときはキーがグリーンに点灯し、節電モードから復帰すると消灯します。

⑱ **テンキー**
ダイヤルするときや、登録するファクス番号/電話番号を入力するときに押します。また、登録する名前を入力するときにも使います。

⑲ **［ストップ/リセット］キー**
送信や受信などの操作を取り消して、本機をスタンバイモードに戻します。

⑳ **［スタート］キー**
ファクス送信または手動受信を開始するときに使います。

■ ワンタッチダイヤルパネルを開けた状態

① **ワンタッチダイヤルキー**
17〜30のキーに登録されているファクス番号/電話番号、またはグループにダイヤルします。
これらのキーを使ってダイヤルするには、あらかじめワンタッチダイヤルに番号を登録しておく必要があります。**ファンクション**キーを押すと、次のワンタッチキー（③〜⑦、⑨〜⑪）がファクス機能キーとして使えるようになります。

② **［受信モード］キー**
受信モードを設定します。

③ **［メモリ照会］キー**
メモリ内の文書を確認または消去するときに使います。

④ **［レポート］キー**
通信管理レポートやダイヤルリスト、ユーザデータリスト、原稿リストなどを出力するときに使います。また、レポート出力を中止するときにも使います。

⑤ **［タイマー送信］キー**
送信時刻を指定してファクスを送信するときに使います。

⑥ **［ブック送信］キー**
原稿を原稿台ガラスから送信するときに使います。

⑦ **［ポーリング］キー**
ポーリング送信、ポーリング受信など、より高度な通信を行うときに使います。

⑧ **［ファンクション］キー**
このキーを押すと、メモリ照会、レポート、タイマー送信、ブック送信、ポーリング、スペース、削除、クリアの各キーがファクス機能キーとして使えるようになります。

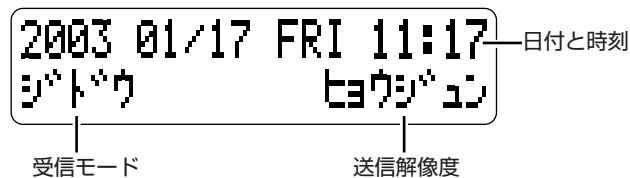
⑨ **［スペース］キー**
電話番号や文字列にスペース（空白）を入れるときに押します。

⑩ **［削除］キー**
入力した文字を1文字消すときに押します。

⑪ **［クリア］キー**
入力したファクス/電話番号や文字列をすべて消すときに押します。

スタンバイ表示

スタンバイ表示は、どのモードが選ばれているかにより表示が異なります。本機の電源が入ると、コピーモードのスタンバイ状態になります。ファクスキーを押すと、コピーモードからファクスモードに切り替えることができます。
ファクスモードのスタンバイ表示は次のとおりです。

■ ファクスモード

• コピーモードのスタンバイ表示については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

2章

基本的な設定

本機の設定方法

通常の動作、送信、受信、印刷、システム設定、スピードダイヤルなどを調整して、お好みに合わせて本機を設定できます。
設定は、操作パネルからダイレクトに調整できます。詳細については、各項目をご覧ください。

文字を入力する

ユーザ略称、スピードダイヤルの宛先名などを入力するときは、次の表をご覧になれば、入力する文字が割り当てられているテンキーを確認できます。

<table>
<tr><th>キー</th><th>カナモード (:ア)</th><th>英字モード (:A)</th><th>数字モード (:1)</th></tr>
<tr><td>ア 1</td><td>アイウエオ ァィゥェォ</td><td>@ . – _ ／</td><td>1</td></tr>
<tr><td>カ ABC 2</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc</td><td>2</td></tr>
<tr><td>サ DEF 3</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef</td><td>3</td></tr>
<tr><td>タ GHI 4</td><td>タチツテト ッ</td><td>GHIghi</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ナ JKL 5</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl</td><td>5</td></tr>
<tr><td>ハ MNO 6</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno</td><td>6</td></tr>
<tr><td>マ PQRS 7</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs</td><td>7</td></tr>
<tr><td>ヤ TUV 8</td><td>ヤユヨ ャュョ</td><td>TUVtuv</td><td>8</td></tr>
<tr><td>ラ WXYZ 9</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz</td><td>9</td></tr>
<tr><td>ワ 0</td><td>ワヲン</td><td></td><td>0</td></tr>
<tr><td>記号 #</td><td>゛ ゜ ー</td><td>–.∗#!",;:^`_=/|'?
$@%&+¥()[]{}<></td><td></td></tr>
<tr><td>カナ/英/数 ∗ トーン</td><td colspan="3">→カナモード (:ア) ──→ 英字モード (:A) ──→ 数字モード (:1) ┐</td></tr>
</table>

- 文字を入力しているときに2分以上何もキーを押さないと、オートクリア機能が働き自動的にスタンバイモードに戻ります。
- オートクリア機能が働くまでの時間は、1〜9分の範囲で1分間隔で設定できます。オートクリア機能が働かないように設定することもできます（→「ユーザーズガイド」）。

■文字（カナ、英字）の入力のしかた

1 *キーを押してカナまたは英字モードに切り替えます（「：ア」または「：A」表示）。

例：
```
                              ：ア
_
```

2 入力する文字が割り当てられているテンキーを押します。

例：
```
                              ：ア
キ
```

- 入力する文字が表示されるまで繰り返し押します。テンキーを押すたびに、そのテンキーに割り当てられている文字が順に表示されます。
- 入力する文字がどのテンキーに割り当てられているかは、2-1ページを参照してください。

3 テンキーを使って、残りの文字を入力します。

例：
```
                              ：ア
キヤ
```

- 次に入力する文字が別のテンキーに割り当てられている場合は、続けてそのキーを何回か押し、文字を入力します。
  次に入力する文字が手順2の操作で入力した文字と同じテンキーに割り当てられている場合は、▶**(+)**キーを押してカーソルを右に移動してから、入力する文字が表示されるまで、繰り返しそのテンキーを押します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが右に移動します。

■記号の入力のしかた

1 *キーを押して文字モードに切り替えます（「：ア」または「：A」表示）。

例：
```
                              ：A
_
```

2 入力する記号が表示されるまで、繰り返し**#**キーまたは**1**キーを押します。

例：
```
                              ：A
#
```

- 続けて記号を入力するときは、▶**(+)**キーを押してカーソルを右に移動し、入力する記号が表示されるまで繰り返し**#**キーを押します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが右に移動します。

■数字の入力のしかた

1 ＊キーを押して数字モードに切り替えます（「：1」表示）。

例：
```
                         :1
_
```

2 入力する数字が割り当てられているテンキーを押します。

例：
```
                         :1
1_
```

- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが次の桁に移動します。

3 テンキーを使って、残りの数字を入力します。

例：
```
                         :1
10_
```

■入力した文字を修正、消去する

文字や記号、または数字を間違って入力してしまったときは、**削除**キーまたは**クリア**キーを押して修正します。

■文字/記号/数字を削除する

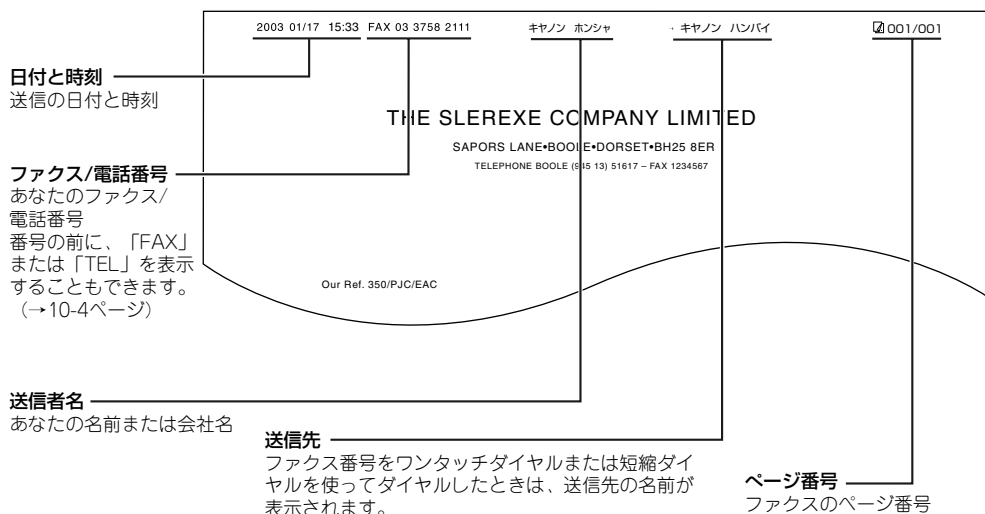
◀(−)キーまたは**▶(＋)**キーを使って削除する文字/記号/数字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の文字/記号/数字が削除されます。

■入力した文字/記号/数字をすべて削除する

ファンクションキーを押してから**クリア**キーを押すと、入力した文字/記号/数字がすべて削除されます。

発信元情報を登録する

発信元情報とは

ファクスで受信した文書のいちばん上に印刷されている、発信元のファクス/電話番号、名前または会社名、送信した日付と時刻などを発信元情報といいます。また、送信端末識別情報（TTI）と呼ばれることもあります。同じように、本機にあなたの情報を登録しておけば、ファクスの発信元がだれで、いつ発信されたかを、送信先に知らせることができます。
本機で発信元情報を登録すると、次のように印刷されます。

- 発信元情報は、送信するファクスの画像領域の内側と外側のどちらに付けるかを設定することができます（→10-4ページ）。
- 発信元情報は、ユーザモード（→2-5、2-6ページ）から登録することができます。

日付と時刻を設定する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して「7. タイマー　セッテイ」を選択します。

```
トウロク/セッテイ
  7. タイマー  セッテイ
```

3 **OK**キーを2回押します。

現在設定されている日付と時刻が表示されます。

例：
```
ヒヅケ/ジコク セット
        '03 01/17 12:10
```

4 テンキーを使って、年、月、日、時刻の順に、正しい日付と時刻を入力し、最後に**OK**キーを押します。

例：
```
ヒヅケ/ジコク セット
        '03 01/17 15:30
```

```
タイマー  セッテイ
  2. オートクリア
```

- ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して、変更したい数字の下にカーソルを移動し、テンキーで入力します。
- 年は、最後の2桁のみを入力します。
- 時刻は、24時間形式で入力します（例：午後1:00は13:00とします）。

5 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

ファクス/電話番号と氏名/会社名を登録する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して「4. ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを4回押します。

```
トウロク/セッテイ
  4. ファクス  キノウ  セッテイ
```

例：
```
ユーザ TEL
TEL=
```

3 テンキーを使ってあなたのファクス番号を入力します（スペースを含めて最高20桁まで）。正しく入力したら、**OK**キーを押します。

例：
```
ユーザ TEL
              03 3758 2111
```

```
デンワ カイセン  セッテイ
  2. カイセン  シュルイ  センタク
```

- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。変更するには、テンキーを使って入力します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。
- 間違って入力したときは、◀ **(－)** キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。

4 **ユーザモード**キーを押し、**◀(−)**キーまたは**▶(+)**キーを押して「2．ユーザ゛ リャクショウ トウロク」を選びます。選択したら**OK**キーを押します。

例：

```
キホン セッテイ
 2．ユーザ゛ リャクショウ トウロク
```

```
                    :ア
_
```

5 テンキーを使ってあなたの名前または会社名を入力します（スペースを含めて最高24文字まで）。正しく入力したら、**OK**キーを押します。

例：

```
                    :ア
キヤノン
```

```
キホン セッテイ
 3．ハッシンモト キロク
```

- 文字の入力のしかたについては、2-1〜2-3ページを参照してください。
- 名前または会社名がすでに登録されている場合は、その名前が表示されます。変更するには、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押して前回の入力を削除し、新たに入力します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが右に移動します。
- 間違って入力したときは、**◀(−)**キーまたは**▶(+)**キーを押して削除する文字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の文字が削除されます。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した文字をすべて削除することもできます。

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

ユーザデータリストを印刷して発信元情報を確認する

登録した発信元情報を確認し、現在の設定をチェックするためには、ユーザデータリストを印刷します。

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して「8．リスト　プ゜リント」を選び、**OK**キーを2回押します。

```
トウロク／セッテイ
  8．リスト　プ゜リント
```

```
リスト　プ゜リント
  1．ユーザ゛デ゛ータ
```

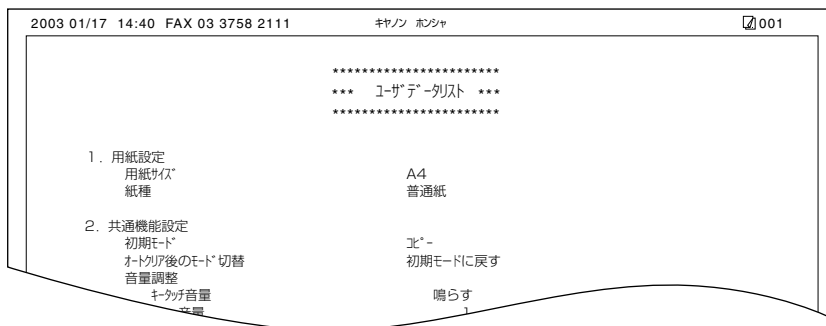
- LCDがスタンバイモードに戻り、ユーザデータリストが印刷されます。
- ユーザデータリストは、**レポート**キーを使って印刷することもできます（→3-10ページ）。

発信元情報はリストの最上部に印刷されます。本機の現在の設定値はその下に印刷されます。

2003 01/17 14:40 FAX 03 3758 2111 キヤノン ホンシャ 001

****
*** ﾕｰｻﾞﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ ***
****

1．用紙設定
用紙ｻｲｽﾞ　A4
紙種　普通紙

2．共通機能設定
初期ﾓｰﾄﾞ　ｺﾋﾟｰ
ｵｰﾄｸﾘｱ後のﾓｰﾄﾞ切替　初期モードに戻す
音量調整
ｷｰﾀｯﾁ音量　鳴らす
音量　1

電話回線の種類を設定する

本機を使う前に、電話回線の種類を正しく設定してください。本機を接続している電話回線の種類がわからないときは、最寄りの電話会社に問い合わせてください。現在の設定は、ユーザデータリストを印刷すればチェックできます（→2-7ページ）。設定を変更するには、次の操作を行います。

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「4.ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを3回押します。

```
トウロク／セッテイ
  4.ファクス　キノウ　セッテイ
```

```
デ゛ンワ　カイセン　セッテイ
  1.ユーザ゛TEL
```

3 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「2.カイセン　シュルイ　センタク」を選び、**OK**キーを押します。

```
デ゛ンワ　カイセン　セッテイ
  2.カイセン　シュルイ　センタク
```

例：
```
カイセン　シュルイ　センタク
            プ゛ッシュ　カイセン
```

4 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して設定する電話回線の種類を選びます。

例：
```
カイセン　シュルイ　センタク
            ダ゛イヤル　カイセン
```

- 「プ゛ッシュ　カイセン」または「ダ゛イヤル　カイセン」を選びます。

プッシュ回線の場合

5 **OK**キーを押します。

```
デ゛ンワ　カイセン　セッテイ
  3.ソウシン　スタート　スピ゛ード゛
```

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

ダイヤル回線の場合

5 **OK**キーを押します。

例：
```
ダ゛イヤル　スピ゛ード゛　センタク
                        20PPS
```

6 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、回線速度を選びます。

例：
```
ダ゛イヤル　スピ゛ード゛　センタク
                        10PPS
```

- 「20PPS」または「10PPS」を選びます。

7 **OK**キーを押します。

```
デ゛ンワ　カイセン　セッテイ
  3.ソウシン　スタート　スピ゛ード゛
```

8 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

スピードダイヤルの登録

スピードダイヤルとは

スピードダイヤルとは、あらかじめ送信先のファクス/電話番号と名前をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておき、簡単にダイヤルする方法です。登録した番号は、1つまたはいくつかの数のキーを押すだけでダイヤルできます。

スピードダイヤルの方法

スピードダイヤルには、次の3つの方法があります。

■ ワンタッチダイヤル（→3-2ページ）

ワンタッチダイヤルにファクス/電話番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルキーを押すだけでダイヤルできます。30件まで登録できます。

■ 短縮ダイヤル（→3-5ページ）

短縮ダイヤルにファクス/電話番号を登録しておくと、**短縮**キーを押してから、登録した2桁の数字のキーを押すだけでダイヤルできます。100件まで登録できます。

■ グループダイヤル（→3-8ページ）

1つのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、すでに登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルをまとめて登録することができます。グループダイヤルを登録しておくと、1つまたはいくつかのキーを押すだけで、同じ原稿を複数の宛先に一度に送信できます。グループは129件まで登録できます。

本章にしたがってスピードダイヤルを登録してください。

- スピードダイヤルを使ってダイヤルする方法については、4-4～4-6ページを参照してください。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを登録する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「5. アテサキ　トウロク」を選び、**OK**キーを2回押します。

```
トウロク/セッテイ
  5. アテサキ  トウロク
```

例：
```
ワンタッチ  ダ゛イヤル
  01=        03  3455  9000
```

3 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押してワンタッチダイヤルキー（01～30）を選び、**OK**キーを2回押します。

例：
```
ワンタッチ  ダ゛イヤル
  04=
```

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=_
```

- ワンタッチダイヤルキーを直接押して選ぶこともできます。
- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。
- グループがすでに登録されているときは、「グ゛ループ゜　ダ゛イヤル」と表示されます。

4 テンキーを使って宛先のファクス/電話番号を入力します（スペースとポーズを含めて120桁まで入力できます）。入力後、**OK**キーを2回押します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=082  248  9000_
```

```
                              :ア
_
```

- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが次の桁に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**キーを押します（→7-1ページ）。
- 間違って入力したときは、◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して削除する数字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の数字が削除されます。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。

5 テンキーを使って、宛先の名前を入力します（スペースを含めて最高で16文字まで）。

例：

```
                    :ア
キヤノン ハンバ゛イ ヒロシマ
```

• 文字の入力のしかたについては、2-1〜2-3ページを参照してください。

6 **OK**キーを押します。

例：

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 05=
```

• 続けて他のワンタッチダイヤルを登録するときは、手順3以降の操作を繰り返します。

7 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

• ワンタッチダイヤルキーに宛先ラベルを貼っておくと、ダイヤルするときにキーを簡単に見分けることができます。

ワンタッチダイヤルのファクス/電話番号や名前を変更、削除する

1 「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順1〜2の操作を行います（→3-2ページ）。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、変更または削除するワンタッチダイヤルのキーを選び、**OK**キーを2回押します。

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 06=      011 728 9966
```

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=011 728 9966_
```

- ワンタッチダイヤルキーを直接押して選ぶこともできます。

変更する場合

3 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、登録されているファクス/電話番号を削除して、新しい番号を入力します。入力後、**OK**キーを2回押します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=011 728 9000_
```

例：
```
                    :ア
キヤノン ハンバ゛イ サッポ゜ロ_
```

- ファクス/電話番号を変更しないときは、手順2の操作の後に**OK**キーを2回押します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが次の桁に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**キーを押します。
- 間違って入力したときは、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して削除する数字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の数字が削除されます。

4 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押して前回入力した名前を削除し、新しい名前を入力します。入力後、**OK**キーを押します。

例：
```
                    :ア
キヤノン ハンバ゛イ サッポ゜ロ
```

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 07=
```

- 名前を変更しないときは、手順3の操作の後に**OK**キーを押します。
- 文字の入力のしかたについては、2-1〜2-3ページを参照してください。

5 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

削除する場合（上記の手順1〜2の操作を先に行います。）

3 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、ファクス/電話番号を削除します。削除後、**OK**キーを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=
```

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

- ファクス/電話番号を削除すると、登録されていた名前も自動的に削除されます。

4 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを登録する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して「5.アテサキ トウロク」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク/セッテイ
  5.アテサキ トウロク
```

```
アテサキ トウロク
  1.ワンタッチ ダ゛イヤル
```

3 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して「2.タンシュク ダ゛イヤル」を選び、**OK**キーを押します。

```
アテサキ トウロク
  2.タンシュク ダ゛イヤル
```

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*00=       975 241 9000
```

4 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して短縮ダイヤル番号（00〜99）を選び、**OK**キーを2回押します。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*02=
```

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=_
```

- **短縮**キーを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を入力することもできます。
- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。
- グループがすでに登録されているときは、「グ゛ループ゜ ダ゛イヤル」と表示されます。

5 テンキーを使って宛先のファクス/電話番号を入力します（スペースとポーズを含めて120桁まで入力できます）。入力後、**OK**キーを2回押します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=075 241 9000_
```

```
                    :ア
_
```

- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが次の桁に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**キーを押します。
- 間違って入力したときは、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して削除する数字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の数字が削除されます。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。

6 テンキーを使って、宛先の名前を入力します（スペースを含めて最高で16文字まで）。

例：
```
                    :ア
キヤノン ハンバ゛イ キョウト
```

- 文字の入力のしかたについては、2-1〜2-3ページを参照してください。

7 **OK**キーを押します。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
＊03=
```

- 続けて他の短縮ダイヤルを登録するときは、手順4以降の操作を繰り返します。

8 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

- 短縮ダイヤルリストを印刷して、登録されている番号や名前を確認できます（→3-10、3-11ページ）。このリストを本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

短縮ダイヤルのファクス/電話番号や名前を変更、削除する

1 「短縮ダイヤルを登録する」の手順1から3の操作を行います（→3-5ページ）。

2 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して、変更または削除する短縮ダイヤル番号を選びます。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*03=       019 646 9000
```

- **短縮**キーを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号を入力することもできます。

3 **OK**キーを2回押します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=019 646 9000_
```

変更する場合

4 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、登録されているファクス/電話番号を削除して、新しい番号を入力します。入力後、**OK**キーを2回押します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=019 646 9966_
```

例：
```
                        :ア
キヤノン ハンバ゛イ ヤマオカ_
```

- ファクス/電話番号を変更しないときは、手順3の操作の後に**OK**キーを2回押します。
- スペースを入力するには、**ファンクション**キーを押してから**スペース**キーを押します。カーソルが次の桁に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのもので、ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**キーを押します。
- 間違って入力したときは、◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して削除する数字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の数字が削除されます。

5 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押して前回入力した名前を削除し、新しい名前を入力します。入力後、**OK**キーを押します。

例：
```
                        :ア
キヤノン ハンバ゛イ モリオカ
```

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*04=
```

- 名前を変更しないときは、手順4の操作の後に**OK**キーを押します。
- 文字の入力のしかたについては、2-1～2-3ページを参照してください。

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

削除する場合（上記の手順1～3の操作を先に行います。）

4 **ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、ファクス/電話番号を削除します。削除後、**OK**キーを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=
```

```
タンシュク ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

- ファクス/電話番号を削除すると、登録されていた名前も自動的に削除されます。

5 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

グループダイヤル

グループダイヤルを登録する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀ **(－)** キーまたは ▶ **(＋)** キーを押して「5．アテサキ　トウロク」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク／セッテイ
  5．アテサキ　トウロク
```

```
アテサキ　トウロク
  1．ワンタッチ　ダ゛イヤル
```

3 ◀ **(－)** キーまたは ▶ **(＋)** キーを押して「3．グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル」を選び、**OK**キーを押します。

```
アテサキ　トウロク
  3．グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル
```

例：

```
グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル
  01＝ワンタッチ　ダ゛イヤル
```

4 グループを登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの番号を選びます。

メモ
- すでに登録されているワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使いたい場合は、登録済みのファクス/電話番号やグループをあらかじめ削除しておきます（→3-4、3-7ページ）。

ワンタッチダイヤルキーに登録する場合

◀ **(－)** キーまたは ▶ **(＋)** キーを押して、グループダイヤルを登録するワンタッチダイヤルキー（01～30）を選び、**OK**キーを2回押します。

例：

```
グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル
  03＝
```

```
TEL＝
```

- ファクス/電話番号やグループがすでに登録されているときは、「ワンタッチ　ダ゛イヤル」または「グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル」と表示されます。

短縮ダイヤルに登録する場合

短縮キーを押してから、グループを登録する短縮ダイヤルの番号（00～99）をテンキーで入力し、**OK**キーを2回押します。

例：

```
グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル
*21＝
```

```
TEL＝
```

- ファクス/電話番号やグループがすでに登録されているときは、「タンシュク　ダ゛イヤル」または「グ゛ルーフ゜　ダ゛イヤル」と表示されます。

5 グループダイヤルに登録する宛先を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの番号で選びます。

- グループに登録できるのは、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにすでに登録されている宛先のみです。
- グループ内に登録した宛先を◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して確認することができます。
  - グループ内の宛先を削除するときは、◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して削除する宛先を表示し、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押します（「クリア　シマシタ」と表示されます）。
  - グループ内の宛先をすべて削除するには、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押す操作を、すべての宛先が削除されるまで繰り返します。グループ内の宛先をすべて削除すると、そのグループは削除されます。
- 以前に登録したグループがある場合には、すべての番号を削除してもグループ名は削除されません。グループを削除するときは、グループ名も消去してください。
- 登録を中止するには、手順4で**OK**キーを押す前に**ストップ/リセット**キーを押します。スタンバイモードに戻ります。

ワンタッチダイヤルを登録する場合

グループに登録したい宛先のワンタッチダイヤルキーを押します。この操作を、登録したいすべての宛先に対して繰り返し、最後に**OK**キーを2回押します。

例：
```
TEL=      03 3455 9000
 01 キヤノン ハンバ゛イ
```
```
                    :ア
_
```

短縮ダイヤルを登録する場合

短縮キーを押してから、グループに登録したい宛先の2桁の短縮ダイヤル番号をテンキーで入力します。この操作を、登録したいすべての宛先に対して繰り返し、最後に**OK**キーを2回押します。

例：
```
TEL=      019 646 9966
*02 キヤノン ハンバ゛イ モリオカ
```
```
                    :ア
_
```

6 テンキーを使って、グループの名前を入力します（スペースを含めて16文字まで入力できます）。

例：
```
                    :1
キヤノン グ゛ルーフ゜ 2_
```

- 名前を登録しないときは、この操作は不要です。
- 文字の入力のしかたについては、2-1〜2-3ページを参照してください。

7 **OK**キーを押します。

例：
```
グ゛ルーフ゜ ダ゛イヤル
*22=
```

- 続けて他のグループを登録するときは、手順4以降の操作を繰り返します。

8 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

メモ

- グループダイヤルリストを印刷すると、グループに登録されている宛先のファクス/電話番号や名前を確認することができます（→3-10、3-12ページ）。このリストを本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

スピードダイヤルリスト

スピードダイヤルに登録したファクス/電話番号の一覧を印刷できます。印刷したリストを本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

スピードダイヤルリストを印刷する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して「8．リスト プ゛リント」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク／セッテイ
  8．リスト プ゛リント
```

```
リスト プ゛リント
  1．ユーザ゛デ゛ータ
```

3 ◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して「2．ダ゛イヤルリスト」を選び、**OK**キーを押します。

```
リスト プ゛リント
  2．ダ゛イヤルリスト
```

```
ダ゛イヤルリスト
  1．ワンタッチ ダ゛イヤルリスト1
```

4 ◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して印刷するリストを選びます。

例：
```
ダ゛イヤルリスト
  2．タンシュク ダ゛イヤルリスト1
```

- 次のリストが選べます。
  - ワンタッチダイヤルリスト１
  - タンシュクダイヤルリスト１
  - グループダイヤルリスト

5 **OK**キーを押します。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤルリスト1
  1．ソート シナイ
```

- 手順4でワンタッチダイヤルリスト1またはタンシュクダイヤルリスト1を選んだときは、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「ソート スル」または「ソート シナイ」を選び送信先の印刷順序を選択します。
  ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの番号順で印刷するときは、「1．ソート シナイ」を選びます。
  名前順で印刷するときは、「2．ソート スル」を選びます。

6 **OK**キーを押します。

- リストが印刷され、スタンバイモードに戻ります。

- **レポート**キーを使ってリストを印刷することもできます。**ファンクション**キーを押してから**レポート**キーを押し、手順3以降の操作を行います。

リストのサンプルを次に示します。

■ ワンタッチダイヤルリスト1

■ 短縮ダイヤルリスト1

■ グループダイヤルリスト

2003 01/17 14:40 FAX 03 3758 2111　　ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ　　001

****
***　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾀﾞｲﾔﾙ電話番号ﾘｽﾄ　***
****

[* 10] ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ 2	[* 02] 075 241 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｷｮｳﾄ
	[* 03] 098 867 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾅﾊ
[10] ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1	[* 01] 019 646 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ﾓﾘｵｶ
	[01] 03 3455 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ
	[02] 011 728 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｻｯﾎﾟﾛ
	[03] 022 265 9000	ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｾﾝﾀﾞｲ

リストの印刷を中止する

リストの印刷を選択したあとで、中止することもできます。

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「8. リスト プ゜リント」を選び、**OK**キーを押します。

トウロク／セッテイ
　8. リスト プ゜リント

リスト プ゜リント
　1. ユーザ゛ デ゛ータ

3 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「3. レポ゜ート チュウシ」を選び、**OK**キーを押します。

リスト プ゜リント
　3. レポ゜ート チュウシ

例：
レポ゜ート ジ゛ョウキョウ
＊00 ダ゛イヤル リスト

4 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して印刷を中止するリストを選び、**OK**キーを押します。

例：
レポ゜ート ジ゛ョウキョウ
＊00 ダ゛イヤル リスト

レポ゜ートヲ チュウシ シマスカ?
　＜ ハイ　　　　　イイエ ＞

5 ◀(－)キーを押して「ハイ」を選びます。

- リストの印刷が中止されます。
- 印刷を続けるときは、▶(＋)キーを押して「イイエ」を選びます。

メモ

- リストの印刷は、**レポート**キーを使って中止することもできます。**ファンクション**キーを押してから**レポート**キーを押し、◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「5. レポ゜ート チュウシ」を選び、**OK**キーを押します。
- **システムモニタ**キーを使って中止するときは、**システムモニタ**キーを4回押し、◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して中止したいリストを選び、**OK**キーを押します。

4章

ファクスを送信する

ファクスを送る前に

送信できる原稿

送信できる原稿についての詳しい説明、およびセット方法や選択方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

画質を設定する

本機はキヤノンの超高品質画像処理テクノロジーUHQ™によって、原稿にきわめて近い画質でファクスを送信できます。解像度や濃度を原稿に合わせて設定できます。

- 原稿の読みこみ中は、設定を変更できません。

解像度を変える

画質のきめ細かさを解像度で設定します。解像度を低くすると、文字や画像の線がギザギザで粗くなります。解像度を高くすると、文字や画像の線はなめらかになり、細かい部分まではっきりとしたファクスを送信できます。

- 解像度が高いほど画質は良くなりますが、通信時間は長くなります。

1 **ファクス**キーを押してから**画質**キーを押し、解像度を選びます。

例：
```
ファクス カイゾ ウド  セッテイ
               ヒョウシ゛ュン
```

- **画質**キーを何回か押して、次の解像度から選びます。
  - ヒョウジ゛ュン
    通常の文字原稿に適しています。
  - ファイン
    細かい文字原稿に適しています。
  - シャシン
    写真を含む原稿に適しています。
  - スーパ゜ーファイン
    細かい文字原稿や線画原稿に適しています（ヒョウジ゛ュンの4倍の細かさで送信します）。
  - ウルトラファイン
    細かい文字原稿や線画原稿に適しています（ヒョウジ゛ュンの8倍の細かさで送信します）。

2 **OK**キーを押します。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジ ド ウ            ファイン
```

- ユーザモードの設定により、オートクリア機能が働いたときや原稿を読みこんだあと、解像度を「ヒョウジ゛ュン」などお好みの設定に自動的に戻すことができます。
  初期設定は「FAXホームホ゜ジ゛ション」の「カイゾ゛ウド゛」が「シナイ」に設定されているので、**画質**キーで選んだ解像度は変わりません（→10-9ページ）。

読み取り濃度を設定する

送信する原稿を読みこむ前に、読み取り濃度を薄くしたり、濃くしたりすることができます。

1 **濃度**キーを押して濃度を選びます。

例：
```
ヨミトリ ノウド゛ セット
                 フツウ
```

- **濃度**キーを何回か押して、次の読み取り濃度から選びます。
  - ウスク
    文字や色が濃い原稿に適しています。
  - フツウ
    普通の濃さの印刷原稿に適しています。
  - コク
    文字や色が薄い原稿に適しています。

2 **OK**キーを押します。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジ゛ド゛ウ       ヒョウジ゛ュン
```

- ユーザモードの設定により、オートクリア機能が働いたときや原稿を読みこんだあと、読み取り濃度を「フツウ」などお好みの設定に自動的に戻すことができます。初期設定は「FAXホームポ゜ジション」の「ヨミトリ ノウド゛」が「シナイ」に設定されているので、**濃度**キーで選んだ読み取り濃度は変わりません（10-9ページ）。
- 3種類の読み取り濃度（ウスク、フツウ、コク）の濃さは、ユーザモードの「ヨミトリ ノウド゛ セット」で設定できます（→10-4ページ）。

ダイヤルのしかた

宛先へのダイヤルのしかたには、次の方法があります。

■ スピードダイヤルを登録していない場合

- 通常のダイヤル
- リダイヤル

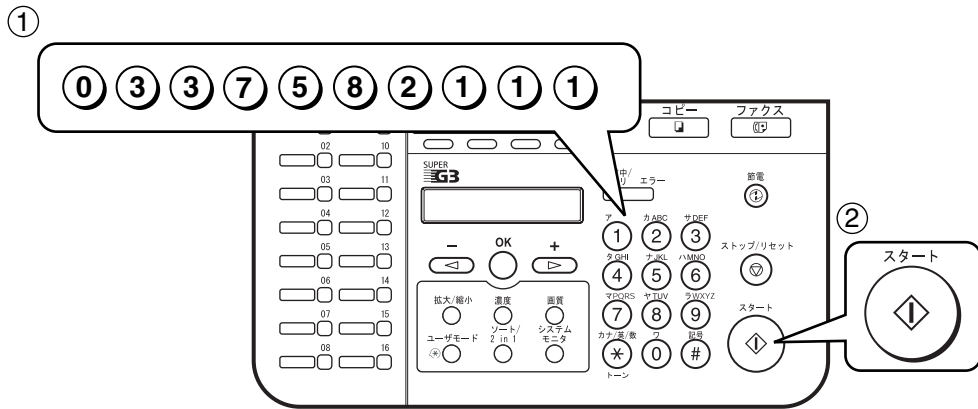
■ スピードダイヤルを登録している場合

- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 電話帳ダイヤル

- 登録したファクス番号は、宛先ラベルやスピードダイヤルリストで確認できます（→3-10～3-12ページ）。
- スピードダイヤルの登録については、「3章 スピードダイヤルの登録」を参照してください。
- 本機をファクスモードに切り替えてからダイヤルしてください。

通常のダイヤルのしかた

電話をかけるときのようにファクス番号をテンキーで順に押してから、**スタート**キーを押します。

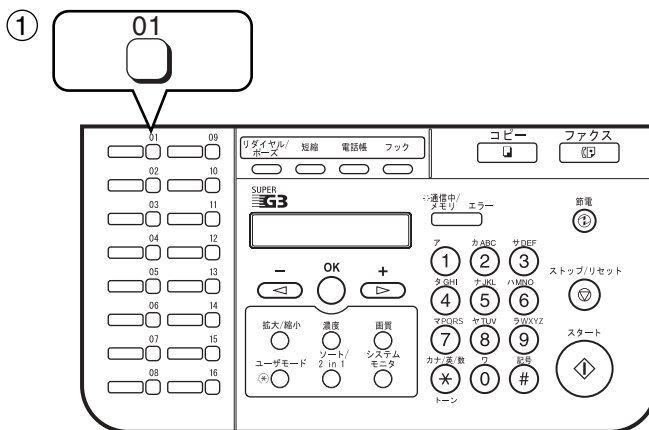
例:

例：TEL=　　　　0337582111

- 間違った番号を入力したときは、**ストップ/リセット**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押して番号を削除し、正しい番号を入力します。

ワンタッチダイヤルのしかた

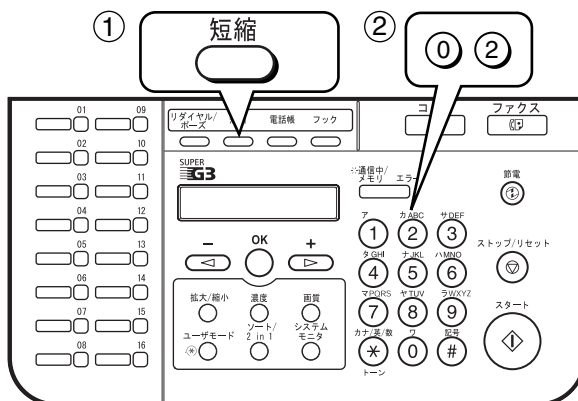
ファクス番号が登録されているワンタッチダイヤルキー（**01**～**30**）を押します。

例：

例：

```
TEL=       03 3455 9000
 01 キヤノン ハンバ゛イ
```

- ワンタッチダイヤルに登録されている送信先のファクス番号が表示されます。
- 間違ったワンタッチダイヤルキーを押したときは、**ストップ/リセット**キーを押してから、正しいワンタッチダイヤルキーを押します。
- ワンタッチダイヤルキーに何も登録されていない場合は、「ミトウロクデ゛ス」と表示されます。

短縮ダイヤルのしかた

短縮キーを押してから、テンキーで2桁の短縮ダイヤル番号（**00**～**99**）を押します。
例：

例：
```
TEL=      075 241 9000
*02 キヤノン ハンバ゛イ キョウト
```

- 短縮ダイヤルに登録されている送信先のファクス番号が表示されます。
- 間違った短縮ダイヤル番号を押したときは、**ストップ/リセット**キーを押します。もう一度**短縮**キーを押してから、正しい短縮ダイヤル番号を押します。
- 短縮ダイヤル番号に何も登録されていない場合は、「ミトウロクデ゛ス」と表示されます。

グループダイヤルのしかた

複数の送信先が登録されているワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使ってダイヤルします。

■ ワンタッチダイヤルキーに登録されているグループにダイヤルする場合

送信先のグループが登録されているワンタッチダイヤルキーを押します（→4-4ページ）。

例：
```
TEL=ク゛ルーフ゜ タ゛イヤル
 03 キヤノン ク゛ルーフ゜ 2
```

- 送信先グループ名が表示されます。
- 間違ったワンタッチダイヤルキーを押したときは、**ストップ/リセット**キーを押してから、正しいワンタッチダイヤルキーを押します。
- ワンタッチダイヤルキーに何も登録されていない場合は、「ミトウロクデ゛ス」と表示されます。

■ 短縮ダイヤル番号に登録されているグループにダイヤルする場合

短縮キーを押してから、送信先のグループが登録されている2桁の短縮ダイヤル番号を押します（→4-5ページ）。

例：
```
TEL=ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
*21 ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
```

- 送信先グループ名が表示されます。
- 間違った短縮ダイヤル番号を押したときは、**ストップ/リセット**キーを押します。もう一度**短縮**キーを押してから、正しい短縮ダイヤル番号を押します。
- 短縮ダイヤル番号に何も登録されていない場合は、「ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ」と表示されます。

電話帳ダイヤルのしかた

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録されている相手先の名前を検索してダイヤルできます。
相手先の名前がわかっていて、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル番号がわからないときに便利です。

1 **電話帳**キーを押します。

```
                    :ｱ
_
```

- 相手先が登録されていないときは、「ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ」と表示され、ダイヤル入力画面になります。

2 検索する名前の先頭文字をテンキーで入力します。

たとえば、チで始まる相手先を検索するときは、**4(タGHI)**キーを2回押します。

3 **OK**キーを押します。

- 入力した文字で始まる名前からあいうえお/アルファベット順に相手先が表示されます。
- 指定した文字で始まる相手先がないときは、次のあいうえお/アルファベット順の文字で始まる相手先が表示されます。

4 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して相手先を選びます。

- **▶(＋)**キーを押すごとに、あいうえお/アルファベット順に相手先が表示されます。
  ◀(－)キーを押すごとに逆順で表示されます。
- 最後の相手先が表示されると、最初の相手先に戻ります。

5 **OK**キーを押します。

- 相手先のファクス番号と名前、または「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ」とグループ名が表示されます。

送信のしかた

メモリ送信

本機は、送信するすべての原稿をいったんメモリに読みこんでから相手先を呼び出し、送信を開始します。
本機は複数の処理を同時に行えるため、原稿を読みこんでメモリに保存しているときでも、ファクスを受信したり、印刷したりすることができます。
メモリには約250ページ*の原稿を保存できますが、写真や絵が多い原稿、文字が細かい原稿などは、保存できるページ数が少なくなります。
*キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

- メモリ使用量が多いときに原稿を読みこむと、原稿によっては「メモリガ　イッパ゜イデ゛ス」と表示されることがあります。「メモリガ　イッパ゜イデ゛ス」と表示されたときに読みこんだ原稿はメモリに保存されず、送信もされません。メモリ内の文書を印刷または削除したり、「フツウ」などの低い解像度で送信してください。

■ ADF（自動原稿給紙装置）を使った送信

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジ゛ド゛ウ          ヒョウジ゛ュン
```

2 原稿面を上向きにしてADFにセットします（→「ユーザーズガイド」）。

```
ケ゛ンコウガ゛  セット  サレマシタ
```

（読みこみの準備ができました。）

- 解像度を設定するには、4-1ページを参照してください。
- 読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 送信先のファクス番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=          0337582111
```

- ダイヤルのしかたについては、4-3〜4-6ページを参照してください。
- 間違った番号を入力したときは、**ストップ/リセット**キーを押してから、正しい番号を入力します。
- 間違って入力したときは、◀**(−)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除して、正しい番号を入力する方法もあります。
- 内線から外線にかけるには、外線番号（例えば"9"）を押し、**リダイヤル/ポーズ**キーを押してポーズを入力します。

4 **スタート**キーを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。原稿をすべてメモリに読みこんだあと、ファクス番号の呼び出しが始まります。
- スピードダイヤルまたはリダイヤルを使ってダイヤルした場合、「ダ゛イヤルタイムアウト」が「スル」に設定されているときは、**スタート**キーを押さなくても、自動的に原稿の読みこみが始まります（→10-6ページ）。
- ファクス番号の呼び出しが始まってから送信を中止するには、**ストップ/リセット**キーを押してから◀**(−)**キーを押します（→4-9ページ）。

- 長さが最大1mまでの原稿を読みこむことができます。
- ADFにはA4サイズの原稿を最大50枚（80g/m²）までセットできます。
- 原稿がすべてメモリに読みこまれると、スタンバイモードに戻ります。この時点で、次の送信を予約できます。最大で20件まで送信の予約をすることができます。

■ 原稿台ガラスを使った送信

- 原稿がADFにセットされていると、原稿台ガラスの原稿ではなく、ADFの原稿を読みこんでしまいます。あらかじめ、ADFから原稿を取り除いてください。
- **ブック送信**キー、**スペース**キー、**削除**キー、および**クリア**キーは、**ファンクション**キーを押してから操作します。
- A5サイズの原稿をファクスするときは、原稿の長辺を、原稿台の左端にそろえます。原稿の長辺が、原稿台にあるA4サイズのマークと一致するようにします。また、ブック送信の読みとりサイズを「A4」に指定すれば、A5サイズの原稿の短辺を原稿台の左端にそろえて読みこませることもできます。

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジドウ         ヒョウジュン
```

2 原稿面を下向きにして原稿台ガラスにセットします（→「ユーザーズガイド」）。

- 解像度を設定するには、4-1ページを参照してください。
- 読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 **ファンクション**キーを押してから**ブック送信**キーを押します。

4 **◀(−)**キーまたは**▶(+)**キーを押して、原稿サイズを選びます。

例：
```
ブックソウシン ヨミトリサイズ
                  A4
```

5 **OK**キーを押します。

6 送信先のファクス番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=        0337582111
```

- ダイヤルのしかたについては、4-3〜4-6ページを参照してください。
- 間違って入力したときは、**◀(−)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除してから、正しい番号を入力することもできます。
- 内線から外線にかけるには、外線番号（例えば"9"）を押し、**リダイヤル/ポーズ**キーを押してポーズを入力します。

7 **スタート**キーを押します。原稿がメモリに読みこまれます。

```
ツギノ ページ    :スタート キー
ヨミコミ シュウリョウ :OK キー
```

8 次のページの原稿面を下向きにして原稿台ガラスにセットし、**スタート**キーを押します。

- この操作を繰り返して、原稿をメモリに読みこませます。

9 すべての原稿の読みこみが終わったら、**OK**キーを押します。ファクス番号の呼び出しが始まります。

- ファクス番号の呼び出しが始まってから送信を中止するには、**ストップ/リセット**キーを押してから◀**(－)**キーを押します（→4-9ページ）。

- 1回の送信で、最大約250ページ*まで読みこむことができます。
  * キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

送信を中止する

メモリ送信を中止する

■ ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿を読みこんでいるとき

1 **ストップ/リセット**キーを押します。

```
ストップキーガ゛ オサレマシタ
OKキーヲ オシテクダ゛サイ
```

2 残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押します。

- ADFの途中で止まっていた原稿が自動排紙されます。

■ 原稿の読みこみが終わっているとき

▌送信中に中止する

1 **ストップ/リセット**キーを押します。

- 確認のメッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
 < ハイ          イイエ >
```

2 ◀**(－)**キーを押します。

- ここで中止せずに送信を続けるときは、▶**(＋)**キーを押して「イイエ」を選びます。
- エラー送信レポートが出力されます（→8-3ページ）。

- **メモリ照会**キーを使い、メモリに保存されている原稿を削除することができます（→4-18ページ）。

4
ファクスを送信する

リダイヤルする

リダイヤルには、手動リダイヤルと自動リダイヤルの2つの方法があります。ここでは、これら2つの方法について説明します。

手動リダイヤル

リダイヤル/ポーズキーを押すだけで、最後にテンキーを使ってダイヤルしたファクス番号にダイヤルすることができます（自動リダイヤルの設定にかかわらず、自動的にファクス番号を呼び出します）。

手動リダイヤルを中止する

手動リダイヤルを中止するには、**ストップ/リセット**キーを押します。このキーを呼び出し中に押すと、「ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?」と表示されます。ここで**◀(−)**キーを押し、「ハイ」を選びます。

- 原稿の読みこみ中に**ストップ/リセット**キーを押すと、「ストップ゜キーカ゛オサレマシタ」「OKキーヲオシテクダ゛サイ」と表示されます。ここで**OK**キーを押します。

自動リダイヤル

送信先が話し中などでファクスを送信できなかった場合は、自動的にリダイヤルします。
リダイヤルの回数と間隔は、「ジ゛ド゛ウ　リダ゛イヤル」で変更することができます。また、自動リダイヤルしないように設定することもできます（→10-6ページ）。リダイヤルしてもファクスを送信できなかった場合は、送信は中止され、エラー送信レポートが印刷されます（→8-3ページ）。

自動リダイヤルを中止する

- リダイヤル待機中に送信を中止するには、**メモリ照会**キーを押してメモリに保存されている原稿を削除してください（→4-18ページ）。

1 リダイヤルが始まるまで待ちます。

2 **ストップ/リセット**キーを押します。

- 確認のメッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
 ＜ ハイ          イイエ ＞
```

3 **◀(−)**キーを押します。

- 送信を続けるときは、**▶(+)**キーを押して「イイエ」を選びます。
- エラー送信レポートが出力されます（→8-3ページ）。

複数の送信先に一度に送る（同報送信）

同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます。次のダイヤル方法を組み合わせて、最大140件まで送れます。

- ワンタッチダイヤル（30件まで）
- 短縮ダイヤル（100件まで）
- テンキーでのダイヤル、リダイヤル（10件まで）

どのような順序でダイヤルしてもかまいません。（テンキーで入力した後は、必ず**OK**キーを押してください。）

- 同じ複数の送信先にたびたびファクスを送信する場合は、グループとして登録しておくと便利です。1つのグループダイヤルには、最大129件まで登録できます（→3-8ページ）。

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

2 原稿面を上向きにしてADFにセットします。

```
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ  ｾｯﾄ ｻﾚﾏｼﾀ
```

（読みこみの準備ができました。）

- 原稿台ガラスを使って送信するには、4-8ページを参照してください。
- 解像度を設定するには、4-1ページを参照してください。
- 読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 送信先のファクス番号をダイヤルします。140件までダイヤルできます。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーを押します。

例：
```
TEL=      022 265 9000
 03 ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｾﾝﾀﾞｲ
```

短縮ダイヤル

短縮キーを押してから、2桁の短縮ダイヤル番号を押します。そのほかの短縮ダイヤルについても、同じ操作を行います。

例：
```
TEL=      011 728 9000
*02 ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｻｯﾎﾟﾛ
```

テンキーでのダイヤル

テンキーでファクス番号をダイヤルし、**OK**キーを押します。

例：
```
TEL=        0337582111
```

- 間違って入力したときは、**◀(－)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。

■ リダイヤル

リダイヤル/ポーズキーを押して、最後にテンキーを使ってダイヤルしたファクス番号にダイヤルします。

- 最初の送信先を入力してから5秒以内に次の送信先を入力してください。また、3番目以降は10秒以内に次の送信先を入力してください。この時間を超えてしまうと、送信先を入力している途中でも自動的に原稿の読みこみが始まります。「ﾀﾞｲﾔﾙﾀｲﾑｱｳﾄ」で、自動的に読みこみが始まらないように設定することもできます（→10-6ページ）。
- ◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーを押すと、指定した送信先をスクロールして確認できます。
- 1度セットした宛先を消去するときは、その宛先が表示されている画面で、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押します。

4 **スタート**キーを押します。

- 原稿の読みこみが終わると、ファクス番号の呼び出しが始まります。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、テンキーでのダイヤルの順に送信されます。
- 送信を中止するには、**ストップ/リセット**キーを押してから◀**(−)**キーを押します。手順3の操作で指定したすべての送信先への送信が中止されます（1件のみを中止することはできません）。

マルチ通信結果レポートが印刷されます（→8-4ページ）。

- 話し中のときは、他の送信先へ先に送信し、その後で話し中だったファクス番号に自動リダイヤルします。
- ADFを使って原稿を読みこんでいるときに「ﾒﾓﾘｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」「OKｷｰｦ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示され、原稿がADFの途中で止まることがあります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動的に排紙されます。送信できなかった原稿は、いくつかに分けてもう一度送信してください。

時刻を指定して送信する（タイマー送信）

時刻を指定してファクスを送信することができます。これをタイマー送信といいます。
この機能を使うと、長距離電話料金が安い深夜に送信することができます。
タイマー送信では、ファクスの送信先を140件まで指定できます。また、20件までファクスの送信予約ができます。

- タイマー送信が設定されているときでも、通常と同じように、他のファクスを送受信したり、印刷、コピーすることができます。
- **ブック送信**キー、**タイマー送信**キー、**スペース**キー、**削除**キー、および**クリア**キーは、**ファンクション**キーを押してから操作します。

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

2 原稿面を下向きにして原稿台ガラスにセットするか、上向きにしてADFにセットします。

- 原稿台ガラスを使って送信するときは、**ファンクション**キーを押してから**ブック送信**キーを押し、◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーで原稿サイズを選びます（→4-8ページ）。

3 **ファンクション**キーを押してから**タイマー送信**キーを押します。

4 テンキーで送信する時刻を入力し、**OK**キーを押します。

例：
```
タイマー ソウシン
ソウシン ジコク      15:30
```
```
TEL=
```

5 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、**リダイヤル/ポーズ**キー、またはテンキーで送信先を指定します。

- ダイヤルのしかたについては、4-3〜4-6ページを参照してください。

メモ
- テンキーで入力中に間違ったときは、◀**(−)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押すと、入力した数字がすべて削除されます。

6 **スタート**キーを押します。原稿の読みこみが始まります。

- スピードダイヤルを使ってダイヤルした場合、「ダイヤルタイムアウト」が「スル」に設定されているときは、**スタート**キーを押さなくても、自動的に原稿の読みこみが始まります（→10-6ページ）。
- 手順4で設定した時刻になると送信を始めます。
- 原稿台ガラスを使って送信するには、4-8ページを参照してください。

通信状況や送信予約を確認する

ファクスの送信中、受信中の状況、または送信予約を確認することができます。

通信状況を確認する

送信中や受信中の通信状況は、次の方法で確認します。

1 **システムモニタ**キーを押します。

```
ファクス ジ゛ョウキョウ
 1.ツウシン ジ゛ョウキョウ
```

2 **OK**キーを押します。

例：
```
16:50 0056 TX
            123456
```

- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。
- 通信中ではないときに確認した場合は、「ツウシンチュウノ ブ゛ンショハアリマセン」と表示され、手順1の画面に戻ります。
- ファクスの受付番号（TX／RX番号）は、送信ファクスか受信ファクスかによって次のような数字が表示されます。
  - 「0001〜4999」：送信ファクス
  - 「5001〜9999」：受信ファクス

送信予約を確認する

送信の予約や送信待ちのファクスがあるときは、次の方法で確認します。

1 **通信中/メモリ**ランプが点灯しているときに、**システムモニタ**キーを押します。

```
ファクス ジ゛ョウキョウ
 1.ツウシン ジ゛ョウキョウ
```

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「2.ツウシンケッカ」を選び、**OK**キーを押します。

例：
```
16:00 0056 TX タイキチュウ
            0337582111
```

- 送信予約と、送信待ちファクスの送信結果は、送信時刻、受付番号やファクス番号で確認します。

3 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、送信予約と送信結果を確認します。

例：
```
17:00 0058 TX タイキチュウ
            0752419000
```

- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。
- 送信予約と送信待ちファクスがないときに**メモリ照会**キーを押して確認した場合は、「チクセキカ゛ソ゛ウカ゛ アリマセン」と表示され、手順2の画面に戻ります。
- 原稿リストを印刷し、予約状況を確認することもできます（→4-15ページ）。

メモリに保存されている原稿

- メモリに何も保存されていないときに**メモリ照会**キーを押すと、「チクセキカ゛ソ゛ウカ゛　アリマセン」と表示され、スタンバイモードに戻ります。

メモリに保存されている原稿のリストを印刷する

メモリに保存されている原稿のリストを印刷できます。それぞれの原稿の受付番号も印刷されます。

1 **ファンクション**キーを押します。

2 **メモリ照会**キーを押してから**OK**キーを押します。

```
メモリ　ショウカイ
　1.ゲ゛ンコウ　リスト
```

- 原稿リストが印刷され、スタンバイモードに戻ります。

- メモリに保存されている原稿は、受付番号を指定して、印刷をしたり削除することができます（→4-17、4-18ページ）。
- **レポート**キーを使ってリストを印刷することもできます。**ファンクション**キーを押してから**レポート**キーを押し、◀**(−)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して「4.ゲ゛ンコウ　リスト」を選んで**OK**キーを押します。

2003 01/17　17:33　FAX 03 3758 2111　　キヤノン　ホンシャ　　001

****
***　原稿リスト　***
****

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0046	タイマー送信	[* 02] キヤノン　ハンバ゛イ　キョウト	1	01/17 16:30	14:00
0047	タイマー送信	[03] キヤノン　ハンバ゛イ　センダ゛イ	1	01/17 16:37	14:05
0048	タイマー同報	[* 01] キヤノン　ハンバ゛イ　モリオカ	1	01/17 16:42	14:07
		[01] キヤノン　ハンバ゛イ			14:07
0049	タイマー同報	[10] キヤノン　グ゛ループ゜　1	1	01/17 16:55	14:10

メモリに保存されている原稿を別の相手先に送信する

メモリには、用紙やトナー切れ、紙づまりなどの理由で印刷できずに代行受信された原稿が保存されます。これらのファクスを別の相手先に送信して印刷してもらうことができます。また、ポーリングボックスに入っている原稿も相手先を選んで送信することができます。

1 **ファンクション**キーを押してから**メモリ照会**キーを押します。

2 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「3.ゲ゛ンコウ ソウシン」を選び、**OK**キーを押します。

```
メモリ ショウカイ
 3.ゲ゛ンコウ ソウシン
```

例：
```
ゲ゛ンコウ ソウシン
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ      5051
```

3 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して、送信する原稿の受付番号（ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ）を選びます。

例：
```
ゲ゛ンコウ ソウシン
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ      5053
```

- 受付番号はテンキーで入力することもできます。

4 **OK**キーを押します。

```
ゲ゛ンコウ ソウシン
アテサキ
```

```
TEL=
```

5 ファクス番号を指定します。

- ダイヤルのしかたについては、4-3～4-6ページを参照してください。
- ファクス番号を指定するには、テンキーで番号を入力した後、**OK**キーを押す必要があります。

6 **OK**キーを押します。

- 送信が始まります。

メモリに保存されている原稿を印刷する

1 **ファンクション**キーを押してから**メモリ照会**キーを押します。

2 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して「2.ゲンコウ プリント」を選び、**OK**キーを押します。

```
メモリ ショウカイ
  2.ゲンコウ プリント
```

例：
```
ゲンコウ プリント
ウケツケ バンゴウ          0001
```

3 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して、印刷する原稿の受付番号（ウケツケ バンゴウ）を選びます。

例：
```
ゲンコウ プリント
ウケツケ バンゴウ          0003
```

- 受付番号はテンキーで入力することもできます。

4 **OK**キーを押します。

```
1ページ ノミ シュツリョク?
 < ハイ           イイエ >
```

- 確認のメッセージが表示されます。

5 最初のページのみ印刷するときは◀ **(－)** キーを、すべてのページを印刷するときは▶ **(＋)** キーを押します。

- 原稿が印刷されます。
- 続けて他の原稿を印刷するときは、手順3以降の操作を繰り返します。

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

メモ

- メモリに保存されている原稿を印刷した場合、すべて約90%に縮小されて出力されます。

メモリに保存されている原稿を削除する

1 **ファンクション**キーを押してから**メモリ照会**キーを押します。

2 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して「4．ゲ ンコウ　クリア」を選び、**OK**キーを押します。

```
メモリ　ショウカイ
　4．ゲ ンコウ　クリア
```

例：
```
ゲ ンコウ　クリア
ウケツケ　バ ンゴ ウ　　　　0001
```

3 ◀ **(－)** キーまたは▶ **(＋)** キーを押して、削除する原稿の受付番号（ウケツケ　バ ンゴ ウ）を選びます。

例：
```
ゲ ンコウ　クリア
ウケツケ　バ ンゴ ウ　　　　0004
```

- 受付番号はテンキーで入力することもできます。

4 **OK**キーを押します。

```
クリアシテ　イイデ スカ?
 <　ハイ　　　　　　イイエ　>
```

- 確認のメッセージが表示されます。

5 ◀ **(－)** キーを押します。

- 原稿が削除されます。
- 削除を中止するには、▶ **(＋)** キーを押して「イイエ」を選びます。
- 続けて他の原稿を削除するときは、手順3以降の操作を繰り返します。

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

5章

ファクスを受信する

ファクス受信モードの種類

本機には、いくつかの受信モードがあります。用途や本機を使用する条件に合わせて、適切な受信モードを設定してください（→5-2ページ）。受信モードは、スタンバイモードのときに設定できます。適切な受信モードを決めるときには、次の表を参照してください。

受信モード	主な用途	動作	必要条件
ジドウ*	ファクス	自動的にファクスのみを受信します。電話がかかってきたときは、通信を切断します。	ファクス専用の電話回線がある
シュドウ	電話	ファクスのときも電話のときも呼び出し音が鳴ります。ファクスは、手動で受信してください。	本機に電話機が接続されている
ルスTEL	ファクス／電話	ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは留守番電話が応答します。	本機に留守番電話が接続されている
FAX/TEL	ファクス／電話	ファクスと電話を自動的に切り替えます。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音が鳴ります（→5-3、5-4ページ）。	本機に電話機が接続されている

*初期設定

どの受信モードが設定されているか、スタンバイ表示で確認することができます。受信モードはLCDディスプレイの左下に表示されます。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジドウ        ヒョウジュン
```

受信モードを設定する

受信モードは、必要に応じて変更できます。

1 **受信モード**キーを何回か押して、受信モードを選びます。

例：
```
ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ  ｾｯﾃｲ
ｼｭﾄﾞｳ
```

- 受信モードは、次の中から選べます。
  - ｼﾞﾄﾞｳ: ファクスのみを受信します。
  - ｼｭﾄﾞｳ: 本機に電話機を接続しているとき、受話器を上げたまま**スタート**キーを押してファクスを受信します。
  - ﾙｽTEL: ファクスのときは自動受信し、電話のときは留守番電話が応答します。
  - FAX/TEL*: 本機に電話機を接続しているとき、ファクスと電話を自動的に切り替えます。

* FAX/TEL受信モードでは、詳細な設定ができます（→5-3、5-4ページ）。

2 **OK**キーを押します。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ｼｭﾄﾞｳ          ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

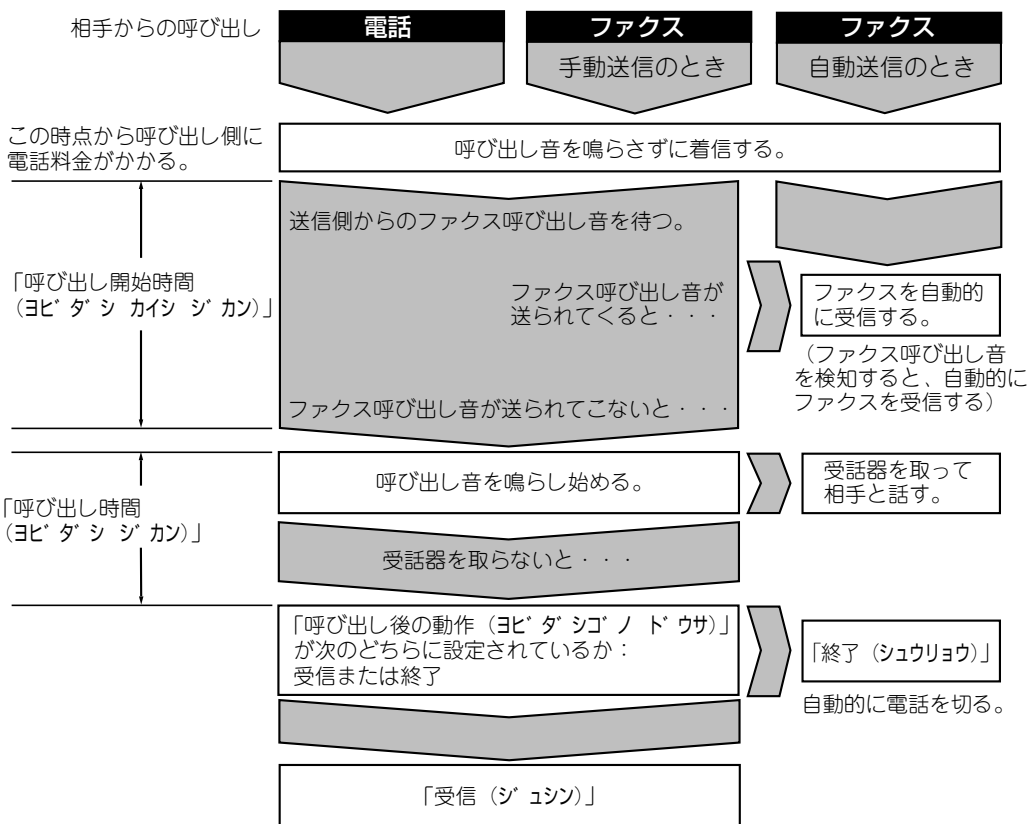
受信モードが設定され、スタンバイモードに戻ります。現在の日時と、設定された受信モードが表示されます。

- 「ｼﾞﾄﾞｳ」にすると、着信時に呼び出し音は鳴りません。呼び出し音が鳴るようにするには、本機に電話機を接続し、「ﾁｬｸｼﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ」設定を「ｽﾙ」にします（→10-7ページ）。
- 留守番電話を本機に接続しているときは、「ﾙｽTEL」を選びます（→「セットアップガイド」）。
- 留守番電話を本機に接続する場合は、次の点に注意してください。
  - 呼び出し音が1回または2回鳴ったときに応答するように、留守番電話を設定してください。
  - 留守番電話の応答メッセージを録音するときは、応答メッセージの長さを15秒以内にしてください。
    例：「ただいま留守にしています。ご用の方は、ピーと言う音の後にご用件をお話しください。折り返しこちらからご連絡いたします。」

FAX/TEL受信モードの詳細設定

「FAX/TEL」に設定したときには、さらに次の内容を設定できます。

- 着信がファクスか電話かを判断するための時間を設定します（「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ」）。
- 電話のときに呼び出し音を鳴らす時間を設定します（「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ」）。
- 「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ」で設定した呼び出し時間が経過した後、ファクスを受信するかどうかを設定します（「ﾖﾋﾞﾀﾞｼｺﾞﾉ ﾄﾞｳｻ」）。

■「FAX/TEL」の詳細設定の流れ

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して「4．ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押します。

トウロク／セッテイ
　4．ファクス　キノウ　セッテイ

ファクス　キノウ　セッテイ
　1．キホン　セッテイ

3 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して「4．ジ゛ュシン　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押します。

ファクス　キノウ　セッテイ
　4．ジ゛ュシン　キノウ　セッテイ

ジ゛ュシン　キノウ　セッテイ
　1．ECM　ジ゛ュシン

4 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して「2．F／T　ショウサイ　セッテイ」を選び、**OK**キーを2回押します。

ジ゛ュシン　キノウ　セッテイ
　2．F／T　ショウサイ　セッテイ

例：
ヨビ゛ダ゛シ　カイシ　ジ゛カン
08ビ゛ョウ

5 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して、着信してから呼び出し音を鳴らし始めるまでの時間を設定し、**OK**キーを2回押します。

例：
ヨビ゛ダ゛シ　カイシ　ジ゛カン
09ビ゛ョウ

例：
ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛カン
022ビ゛ョウ

- 0〜30秒の間で指定できます。
- 初期設定は8秒です。
- **◀(－)**キーや**▶(＋)**キーの代わりにテンキーを使って時間を設定することもできます。

6 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して、呼び出し音を鳴らす時間を設定し、**OK**キーを2回押します。

例：
ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛カン
030ビ゛ョウ

例：
ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ　ド゛ウサ
ジ゛ュシン

- 15〜300秒の間で指定できます。
- 初期設定は17秒です。
- **◀(－)**キーや**▶(＋)**キーの代わりにテンキーを使って時間を設定することもできます。

7 **◀(－)**キーまたは**▶(＋)**キーを押して「ジュシン」または「シュウリョウ」を選び、**OK**キーを押します。

例：
ジ゛ュシン　キノウ　セッテイ
　3．チャクシン　ヨビ゛ダ゛シ

- 手順6の操作で設定した時間内に受話器を取らなかった場合の対応を設定します。
- 「ジ゛ュシン」を選ぶとファクスを受信し、「シュウリョウ」を選ぶと、電話を切ります。

8 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

手動受信（リモート受信）のしかた

「ｼｭﾄﾞｳ」受信モードに設定すると、通話したり手動でファクス受信を開始することができます。ファクス受信は、本機に接続されている電話機からも開始できます（これをリモート受信といいます）。

- 手動受信（リモート受信）をする場合は、本機に電話機を接続してください（→「セットアップガイド」）。
- ADFに原稿が残っていないことを確認してください。
- 「ﾘﾓｰﾄ ｼﾞｭｼﾝ」が「ｽﾙ」に設定されていることを確認してください（→10-7ページ）。
- 電話回線がダイヤル回線の場合は、本機に接続した電話機でリモート受信のID番号を入力する前にトーンキー（⁎キー）を押すことにより、リモート受信をすることができます。

1 LCDディスプレイに「ｼｭﾄﾞｳ」と表示されていることを確認してください。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ｼｭﾄﾞｳ          ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
```

- 受信モードを「ｼｭﾄﾞｳ」に設定する（→5-2ページ）。

2 本機に電話機が接続されていることを確認します。

3 呼び出し音が鳴ったら、電話の受話器を取ります。

4 ■ **相手の声が聞こえたとき**

電話で会話することができます。会話の後でファクスを受信するには、相手にファクス送信の操作をしてもらいます。
「ピー」という音が聞こえたら、本機の**スタート**キーを押します。ファクスの受信が始まるので、受話器を戻してください。

■ **「ピー」という音が聞こえたとき、または何も音がしないとき**

相手がファクスを送信しようとしています。
電話機と本機が互いに近い場所にあるときは、本機の**スタート**キーを押します。ファクスの受信が始まるので、受話器を戻してください。

- カセットに用紙がないときは、「ﾖｳｼｶﾞ アﾘﾏｾﾝ」「ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ」と表示されます。カセットに用紙をセットすると自動的に受信したファクスの印刷が始まります。
- 電話機が本機から離れているときは、電話機で「25」（リモート受信のID番号）をダイヤルし、受話器を戻します。ダイヤル回線の場合は、電話機でプッシュ信号に切り替えてから「25」をダイヤルします。
- リモート受信のID番号は、**0**～**9**、⁎、**#**を組み合わせた2桁の番号に変更することができます。また、リモート受信をしないように設定することもできます（→10-7ページ）。
- 本機に留守番電話を接続している場合、留守番電話の操作のための暗証番号がリモート受信のIDと同じ番号になっていることがあります。この場合は、リモート受信のID番号を変更してください（→10-7ページ）。
- 受話器がきちんと戻っていないと、警告音が鳴り、「ｼﾞｭﾜｷｦ ｵｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ」が表示されます。
受話器はきちんと戻してください。また、「ｵﾌﾌｯｸｱﾗｰﾑ」で警告音が鳴らないように設定することもできます（→10-4ページ）。

設定中やコピー中のファクス受信

本機は複数の処理を同時にできるので、他の機能を使っているときでも、ファクスを受信したり電話に応答することができます。
他の機能を使っている間に受信したファクスは、メモリに保存されます。
その機能を使い終えると、受信したファクスが自動的に印刷されます。

- 受信したファクスの印刷中にコピーしたり、パソコンから印刷すると、コピーやパソコンからの印刷が優先されファクスの印刷に割り込んで出力されます。

メモリでの受信

ファクスの受信中にエラーが発生したとき、印刷が済んでいないファクスは自動的にメモリに保存され、「ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ」などのメッセージが表示されます。
メモリに保存されたファクスは、エラー処理後に自動的に印刷されます。メッセージの意味と対処方法については、9-1、9-2ページを参照してください。

- メモリには約250ページ分*のファクスを保存できます。
- 印刷されたページはメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。画像出力後、相手先に連絡して、もう一度送信してもらってください。

* 相手先がD350を標準モードで使用し、送付する原稿がキヤノンFAX標準チャートNo.1（標準モード）に準拠していることが前提となります。メモリに保存できるページの最大数は、相手先が使っているファクス機の種類によって異なる場合があります。

受信を中止する

すべての原稿を受信する前に受信を中止できます。

1 **ストップ/リセット**キーを押します。

- 確認のメッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ チュウシ シマスカ?
 < ハイ           イイエ >
```

2 ◀**(−)**キーを押します。

- 受信を続けるときは、▶**(＋)**キーを押して「イイエ」を選びます。

6章

ポーリングを使う

ポーリングとは

相手先のファクス機に蓄積されている原稿を、本機からの操作で受信したり、本機に蓄積されている原稿を、ほかのファクス機からの操作で送信することができます。通常のファクスの送受信とは異なり、この送受信では常に、受信する側が送信元のファクス番号を呼び出します。この呼び出しをポーリングといいます。送信元は、相手先から着信したポーリングに応じて、原稿を相手先に送信します。

- 本機は、送信元と相手先のどちらにも設定できます。相手先にポーリングして原稿を受信する操作をポーリング受信、着信したポーリングに応じて蓄積されている原稿を送信する操作をポーリング送信といいます。
- ポーリング受信するには、相手先のファクス機がポーリング機能を持っていることが前提になります。

ポーリング受信の前に

ポーリングを設定する前に、次の点に注意してください。

■一度の操作で複数の相手先にポーリングできます。最大140件までの相手先にダイヤルし、それぞれの相手先のファクス機にポーリングして、蓄積されている原稿を受信できます。

■相手先がポーリングID機能を持つキヤノンのファクス機を使っているときには、ファクス機のポーリングIDを255（2進数で1111 1111）に設定するように、相手先に依頼してください。ポーリングIDの詳細については、ポーリングID機能を持つファクス機のマニュアルを参照してください。それ以外の場合は、ポーリングIDを考慮する必要はありません。

ポーリング受信する

相手先のファクス機にポーリングして、蓄積されている原稿を受信するには、次の操作を行います。

1 **ファンクション**キーを押してから**ポーリング**キーを押します。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジドウ          ヒョウジュン
```

```
ポーリング
  1.ポーリング  ソウシン
```

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「2.ポーリング　ジュシン」を選び、**OK**キーを押します。

```
ポーリング
  2.ポーリング  ジュシン
```

```
TEL=
```

3 相手先のファクス番号にダイヤルします。

```
TEL=
```

例：
```
TEL=        03 3445 9000
 01 キヤノン ハンバイ
```

- 相手先には、テンキーでのダイヤル、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳ダイヤルのどの方法でもダイヤルできます（→4-3～4-6ページ）。
- テンキーでダイヤルするときは、ファクス番号を入力した後、必ず**OK**キーを押してください。
- 間違って入力したときは、◀**(−)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。
- 呼び出しが始まった後で、ファクス番号を間違って入力したことに気付いたときは、**ストップ/リセット**キーを押し、続いて◀**(−)**キーを押して「ハイ」を選びます。スタンバイモードに戻ります。

4 **スタート**キーを押します。

- 相手先へのポーリングが始まります。

ポーリング送信を設定する

ここでは、ほかのファクス機からポーリングが着信するまで、読みこんだ原稿をメモリに保存し、ポーリングに応じて送信するように、本機を設定する方法を説明します。

ポーリング送信の前に

ポーリング送信するには、ユーザモードの「ポ゚ーリング゙　ボ゙ックス」を使って、原稿を保存するためのファイル（ポーリングボックス）を作成しておく必要があります。

「ソウシンゴ゙ ノ　ゲ゙ンコウ　クリア」を「シナイ」に設定した場合、メモリに読みこまれた原稿は、ほかのファクス機からポーリングされるか、**メモリ照会**キーを使って削除されるまで、ポーリングボックス内に保存されます（→4-18ページ）。

ポーリングボックスを作成する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「4．ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク／セッテイ
  4．ファクス　キノウ　セッテイ
```

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  1．キホン　セッテイ
```

3 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「6．ポ゚ーリング゙　ボ゙ックス」を選び、**OK**キーを2回押します。

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  6．ポ゚ーリング゙　ボ゙ックス
```

```
サクセイ
  1．ボ゙ックス　メイショウ
```

4 ◀**(−)**または▶**(+)**キーを押して「1．ボ゙ックス　メイショウ」を選び、**OK**キーを押します。

```
                         :ア
_
```

5 ポーリングボックスのファイル名（スペースを含めて24文字まで）をテンキーで入力し、**OK**キーを押します。

例：
```
                         :ア
キヤノン　ハンバ゙イ
```

```
サクセイ
  2．アンショウバ゙ンゴ゙ウ
```

- 文字の入力方法については、2-1〜2-3ページを参照してください。
- 間違って入力したときは、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して削除する文字の下にカーソルを移動し、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押します。カーソル位置の文字が削除されます。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した文字をすべて削除する方法もあります。
- 「トウロク　シマシタ」が数秒間、LCDディスプレイに表示されます。

6 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「2．アンショウバ゙ンゴ゙ウ」を選び、**OK**キーを押します。

- 暗証番号が不要であれば、手順8に進みます。

```
サクセイ
  2．アンショウバ゙ンゴ゙ウ
```

```
アンショウバ゙ンゴ゙ウ
                      _
```

7 テンキーで暗証番号（最大7桁）を入力し、**OK**キーを押します。

例：
```
アンショウバ゛ンゴ゛ウ
              1234567
```

```
サクセイ
  3．ソウシンゴ゛ノ ゲ゛ンコウ クリア
```

- 暗証番号は、ポーリングボックスの不正利用を防ぐためのものです。ポーリングボックスの設定を変更するときは、ここで設定した暗証番号を入力する必要があります。
- 暗証番号を間違って入力したときは、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した内容をいったん削除します。そのあと、正しい暗証番号を入力しなおします。

8 ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して「3．ソウシンゴ゛ノ ゲ゛ンコウ クリア」を選び、**OK**キーを押します。

```
サクセイ
  3．ソウシンゴ゛ノ ゲ゛ンコウ クリア
```

例：
```
ソウシンゴ゛ノ ゲ゛ンコウ クリア
                    スル
```

9 ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、「スル」または「シナイ」を指定し、**OK**キーを押します。

「スル」：ポーリングボックス内の原稿は、他のファクス機からのポーリングに応じて送信した後、削除されます。

「シナイ」：ポーリングボックス内の原稿は、送信後もそのまま残ります。この設定は、複数のファクス機からポーリングされるときに選びます。

例：
```
ソウシンゴ゛ノ ゲ゛ンコウ クリア
                    シナイ
```

```
ホ゜ーリング゛ ホ゛ックス
  2．ヘンコウ
```

10 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

■ ポーリング送信する原稿を読みこむ

原稿をポーリングボックスに読みこむには、次の操作を行います。読みこんだ原稿はポーリングボックスに保存され、他のファクス機からのポーリングに応じて送信できます。ポーリング送信を行うには、ポーリングボックスを作成しておく必要があります（→6-3ページ）。

1 原稿をADFにセットします。

```
ゲ゛ンコウガ゛  セット  サレマシタ
```

2 **ファンクション**キーを押してから**ポーリング**キーを押します。

```
ポ゜ーリング゛
  1. ポ゜ーリング゛  ソウシン
```

3 **OK**キーを押します。

原稿がポーリングボックスに読みこまれます。

例：
```
ポ゜ーリング゛  ソウシン       5008
ヨミコミチュウ              P. 001
```

6

ポーリングを使う

ポーリングボックスの設定を変更する

ポーリングボックスの設定を変更するには、次の操作を行います。

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して「4.ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク/セッテイ
  4.ファクス　キノウ　セッテイ
```

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  1.キホン　セッテイ
```

3 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して「6.ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス」を選び、**OK**キーを押します。

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  6.ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
```

```
ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
  1.サクセイ
```

4 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して「2.ヘンコウ」を選び、**OK**キーを押します。

```
ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
  2.ヘンコウ
```

例：
```
ヘンコウ
アンショウバ゛ンコ゛ウ　　_
```

5 テンキーで暗証番号（最大7桁）を入力し、**OK**キーを押します。

- 暗証番号を設定していない場合は、この操作を省略して手順6に進みます。

例：
```
ヘンコウ
アンショウバ゛ンコ゛ウ　　*******
```

```
ヘンコウ
  1.ボ゛ックス　メイショウ
```

- 暗証番号を間違って入力したときは、**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した内容をいったん削除します。そのあと、正しい暗証番号を入力しなおします。

6 ◀(−)キーまたは▶(+)キーを押して、変更する設定項目を表示し、**OK**キーを押します。

- 各設定項目は、ポーリングボックスの作成時に行った操作と同じ手順で変更できます（→6-3ページ）。

例：
```
ヘンコウ
  1.ボ゛ックス　メイショウ
```

- 暗証番号を変更するには、まず現在の暗証番号を入力して**OK**キーを押します（このとき、入力している内容は表示されません）。続いて、新しい暗証番号を入力して**OK**キーを押します（このときは、入力している内容が表示されます）。

7 必要な変更がすべて終わったら、**ストップ/リセット**キーを押してスタンバイモードに戻します。

ポーリングボックスを削除する

ポーリングボックスを削除するには、次の操作を行います。

- ポーリング送信する原稿が残っているポーリングボックスは削除できません。

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「4．ファクス　キノウ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押します。

```
トウロク／セッテイ
  4．ファクス　キノウ　セッテイ
```

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  1．キホン　セッテイ
```

3 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「6．ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス」を選び、**OK**キーを押します。

```
ファクス　キノウ　セッテイ
  6．ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
```

```
ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
  1．サクセイ
```

4 ◀(－)キーまたは▶(＋)キーを押して「3．トリケシ」を選び、**OK**キーを押します。

```
ホ゜ーリンク゛　ホ゛ックス
  3．トリケシ
```

```
トリケシ
アンショウハ゛ンコ゛ウ　　_
```

- ポーリング送信する原稿が残っていると、ポーリングボックスは削除されず、「トリケシ　デ゛キマセン」が表示されます。
- 暗証番号を設定していない場合は、「3．トリケシ」を選び、**OK**キーを押すと「トリケシ　トリケシマシタ」と表示され、ポーリングボックスが削除されます。手順6に進んでください。

5 テンキーで暗証番号（最大7桁）を入力し、**OK**キーを押します。

例：

```
トリケシ
アンショウハ゛ンコ゛ウ　　*******
```

```
トリケシ
トリケシマシタ
```

ポーリングボックスが削除されます。

6 **ストップ/リセット**キーを押して、スタンバイモードに戻します。

7章

その他の送受信方法

その他の送受信方法でファクスを使いこなす

ここでは、海外へのダイヤルのしかたと、一時的にプッシュ信号に切り替える方法について説明します。

海外へのダイヤル

海外にダイヤルするとき、または海外のファクス/電話番号を登録するときは、番号の間や最後にポーズを入れてください。ポーズの長さや位置は国によって異なります。

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジ ド ウ        ヒョウジ ュン
```

2 原稿面を上向きにしてADFにセットします。

```
ゲ ンコウガ  セット サレマシタ
```

（読みこみの準備ができました。）

- 原稿台ガラスを使って送信するには、4-8ページを参照してください。

3 テンキーを使って、国際電話呼び出し番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=                 00
```

- 間違った番号を入力したときは、**ストップ/リセット**キーを押してから、正しい番号を入力します。
- 国際電話呼び出し番号については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

4 必要に応じて**リダイヤル/ポーズ**キーを押し、2秒間のポーズ（p）を入れます。

例：
```
TEL=                00P
```

- ポーズの時間を長くしたいときは、**リダイヤル/ポーズ**キーをもう一度押して2秒間のポーズを追加します。また、ポーズ1つ分の長さを変更することもできます（→10-6ページ）。

5 テンキーを使って、送信先の国番号、エリアコード、ファクス/電話番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=          00p81123
```

- 間違った番号を入力したときは、**ストップ/リセット**キーを押し、手順3以降の操作を繰り返します。
- 間違って入力したときは、◀**(ー)**キーを押すか、**ファンクション**キーを押してから**削除**キーを押し、最後に入力した数字から順に削除します。**ファンクション**キーを押してから**クリア**キーを押し、入力した数字をすべて削除することもできます。

6 番号の最後にポーズが必要なときは、**リダイヤル/ポーズ**キーを押します。

例：
```
TEL=         00p81123P
```

- 番号の最後のポーズ（P）の長さは10秒です。変更することはできません。

7 **スタート**キーを押します。

- ファクス番号の呼び出しが始まってから送信を中止するには、**ストップ/リセット**キーを押してから◀**(ー)**キーを押します（→4-9ページ）。

- よく使う海外のファクス/電話番号は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておくと便利です（→3-2、3-5ページ）。

一時的にプッシュ信号に切り替える

銀行、航空便の予約、ホテルの予約など、電話による情報サービスの大部分は、プッシュ回線を使っていることが前提になります。本機をダイヤル回線でお使いの場合に、一時的にプッシュ信号に切り替えるには、次の操作を行います。

1 **ファクス**キーを押してファクスモードにします。

例：
```
2003 01/17 FRI 15:30
ジ ド ウ        ヒョウジ ュン
```

2 電話機の受話器を取ります。

3 電話機のダイヤルキーを押すか、本機のワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル、**リダイヤル/ポーズ**キー、またはテンキーを使って、情報サービスの電話番号を入力します。

- 電話機のダイヤルキーを押して入力した番号は、本機のLCDディスプレイには表示されません。

4 情報サービスの電子音声が聞こえたら、**トーン**キーを押してプッシュ信号に切り替えます。

例：
```
TEL=       123 4567T
```

- **トーン**キーを押すと、LCDディスプレイに「T」が表示されます。
- 本機をプッシュ回線でお使いの場合は、この操作を省略して手順5に進みます。

5 音声の指示に従って、本機のテンキーを使って番号を入力します。

例：
```
TEL=       123 4567T34
```

- **トーン**キーを押した後に入力した番号は、プッシュ信号で送信されます。
- いったん**トーン**キーを押すと、電話機のダイヤルキーは使えなくなります。本機のテンキーを使ってください。

6 ファクスを受信するときは、**スタート**キーを押します。

7 使い終わったら、電話機に受話器を戻して回線を切断します。

- 回線を切断すると、プッシュ信号への切り替えも元に戻ります。

レポートやリストの印刷

レポートやリストについて

本機で印刷できるレポートやリストには、次のような種類があります。詳細については、該当するページを参照してください。

メモ

- カセットまたは手差しトレイにA4サイズ／レターサイズ／リーガルサイズの用紙がセットされているか確認してください。それ以外のサイズの用紙がセットされていると、レポートの印刷はできません。

レポート名またはリスト名	説明	参照
ユーザデータリスト	本機の現在の設定と発信元情報のリストです。	2-7ページ
通信管理レポート	送受信したファクスの履歴です。 20通信ごとに自動的に印刷するかどうかを設定できます。また、手動で印刷することもできます。	8-2ページ
送信結果レポート	ファクス送信後に印刷されます。 印刷するかどうかを設定できます。また、エラーが発生したときのみ印刷するように設定することができます。 送信結果レポートの下に原稿の最初のページを印刷して、送信したファクスの内容がわかるように設定することもできます。	8-3ページ
受信結果レポート	ファクス受信後に印刷されます。 印刷するかどうかを設定できます。また、エラーが発生したときのみ印刷するように設定することもできます。	8-4ページ
原稿リスト	現在メモリに保存されている原稿のリストです。	4-15ページ
メモリクリアリスト	メモリから削除された原稿のリストです。 電源を入れ直すと自動的に印刷されます。	9-7ページ
ワンタッチダイヤルリスト1	ワンタッチダイヤルに登録されているファクス/電話番号と名前のリストです。	3-11ページ
短縮ダイヤルリスト1	短縮ダイヤルに登録されているファクス/電話番号と名前のリストです。	3-11ページ
グループダイヤルリスト	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているグループダイヤルのリストです。	3-12ページ

通信管理レポート

初期設定は、通信管理レポートを20回通信するごとに自動的に印刷するように設定されています。手動で通信管理レポートを印刷するには、次の操作を行ってください。

- 通信管理レポートを自動的に印刷しないようにするには、「ツウシンカンリ　レポート」を「シナイ」に設定してください（→10-5ページ）。

1 **ファンクション**キーを押してから**レポート**キーを押します。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「1. ツウシンカンリ　レポート」を選び、**OK**キーを押します。

例：

- 通信管理レポートが印刷され、スタンバイ状態に戻ります。

通信管理レポートの送受信結果は日付順に印刷されます。

2001 01/17 15:34 FAX 03 3758 2111　キヤノン　ホンシャ　001

*** 通信管理レポート ***

開始時刻	相手先		番号	通信モード		枚数	通信結果	
*01/17 13:10	キヤノン　ハンバイ　センダイ	022 265 9000	5001	自動受信	ECM	1	OK	00'33
*01/17 13:28	キヤノン　ハンバイ　センダイ	022 265 9000	5002	自動受信	ECM	1	OK	00'24
*01/17 14:01	キヤノン　ハンバイ　モリオカ	019 646 9000	0001	同報送信	ECM	1	OK	00'35
*01/17 14:08	キヤノン　ハンバイ　ナハ	098 867 9000	0001	同報送信	ECM	1	OK	00'35
*01/17 14:10	キヤノン　ハンバイ	03 3455 9000	5003	自動受信	ECM	1	OK	00'41
*01/17 14:11	キヤノン　ハンバイ　ナハ	098 867 9000	5004	自動受信	ECM	2	OK	00'24
*01/17 14:34	キヤノン　ハンバイ　サッポロ	011 728 9000	0002	送信	ECM	1	OK	00'25
*01/17 14:42	キヤノン　ハンバイ　サッポロ	011 728 9000	0003	送信		0	NG 0	00'21 STOP
01/17 14:55	キヤノン　ハンバイ　モリオカ	019 646 9000	5005	自動受信	ECM	1	OK	00'41
01/17 15:05	キヤノン　ハンバイ　ナハ	098 867 9000	0004	送信			NG 0	00'00 #0018

＊受信エラー文書のときは、実際に印刷できたページ数とレポートのページ数が異なります。

送信結果レポート

初期設定は、送信結果レポートをエラーが発生したときのみ印刷するように設定されています。
設定を変更するときは、10-5ページを参照してください。
印刷するように設定しているときは、選んでいる設定によって、次のような送信結果レポートまたはエラー送信レポートが印刷されます。

マルチ通信結果レポート

同報送信が行われると、次のようなマルチ通信結果レポートが印刷されます。
このレポートは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」の「ｿｳｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」で「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｽﾙ」または「ｴﾗｰｼﾞﾉﾐ ﾌﾟﾘﾝﾄ」を選んだ場合に印刷されます（→10-5ページ）。

2003 01/17 18:14 FAX 03 3758 2111　　ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ　　001

****
*** ﾏﾙﾁ通信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

受付番号　0015
枚数　1
未通信相手先

終了相手先
[02] 011 728 9000　ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｻｯﾎﾟﾛ
[* 02] 075 241 9000　ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｷｮｳﾄ
エラー相手先

受信結果レポート

初期設定は、受信中にエラーが発生しても受信結果レポートを印刷しないように設定されています。
設定を変更するときは、10-5ページを参照してください。
印刷するように設定しているときは、次のような受信結果レポートが印刷されます。

2003 01/17 15:36 FAX 03 3758 2111　　ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ　　001

****
*** 受信結果ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

次の受信は正しく終了しました

受付番号　5003
相手の電話番号　022 265 9000
相手先略称　ｷﾔﾉﾝ ﾊﾝﾊﾞｲ ｾﾝﾀﾞｲ
開始時刻　01/17 15:35
通信時間　00'16
枚数　2
通信結果　OK

困ったときには

メッセージとその内容

本機が動作中のときや、エラーが発生したときは、LCDディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
ここでは、ファクス機能に関するメッセージを説明します。その他のメッセージについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

メッセージ	原　因	対処方法
(ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ) nnnn*	送受信したファクスには、自動的に通し番号（nnnn）が付けられます。	あとでこの番号が必要になる場合は、番号を書き留めてください。
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ	ADFからの送信で、原稿の長さが1mを超えているか、送信時間が長すぎます。 または、原稿がADFに正しく送り込まれていません。	原稿を1m以内にするか、いくつかに分割して送信してください。 または、原稿をADFに正しくセットしてください。
ｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADFを使って複数枚コピーしているとき、**ストップ/リセット**キーを押し残りの原稿を取り除かずに**OK**キーを押すとエラーが発生します。	ADFから原稿を取り出し、再びセットしなおしてください。（→「ユーザーズガイド」）。
	「ｹﾞﾝｺｳｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージ表示後、原稿を正しくセットしないで**スタート**キーを押すとエラーが発生します。	ADFから原稿を取り出し、用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえ、再びセットしなおしてください（→「ユーザーズガイド」）。
ｹﾞﾝｺｳｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF（自動原稿給紙装置）内で原稿がつまっています。	ADFから原稿を取り除きます（→「ユーザーズガイド」）。 原稿の長さが適切であるか確認してください（→「ユーザーズガイド」）。 そのあと、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。
	ADFローラが空回りしています。	原稿を取り出し、用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえてください。
ｼﾞｭﾜｷｦ ｵｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ	電話の受話器が外れています。	受話器をきちんと戻してください。

* 受付番号はスタンバイモードでは表示されません。表示されるのは、原稿を読みこんでいるとき、通信状況や送信予約を確認しているとき、メモリに保存されている原稿を確認しているとき、ファクスを手動送受信しているときです。

メッセージ	原　因	対処方法
ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ	用紙がない、トナーが切れている、紙づまり、または用紙のサイズが正しくないといった原因により受信したファクスを印刷できないので、メモリに保存しました。	カセットに正しいサイズの用紙をセットするか、カートリッジを交換するか、つまった用紙を取り除いてください（→「ユーザーズガイド」）。
ﾐﾄｳﾛｸﾃﾞｽ	未登録のワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤルキーが押されました。	必要に応じてそのワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤルキーにファクス/電話番号を登録します（→3-2、3-5ページ）。
ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ (OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ)	原稿の読みこみ中、またはファクスの受信中にメモリがいっぱいになりました。	原稿を何回かに分けて送信するか、送信解像度を低くしてください。 メモリの空き容量が足りないときは、メモリ内の原稿がある程度送信されるまでお待ちください。または、メモリ内の不要な原稿を印刷するか削除してください（→4-18）。ADFを使って原稿を読みこんでいるときに「ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」「OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されると、読みこみ中の原稿がADFの途中で止まります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押せば原稿が自動排紙されます。
ﾒﾓﾘ ｼﾖｳ ﾘｮｳ nn%	メモリの使用率を示しています。このメッセージは、原稿をADFにセットしたときに表示されます。	メモリの空き容量をもっと増やしたいときは、メモリ内の原稿が送信されるまでお待ちください。または、メモリ内の不要な原稿を印刷するか削除してください（→4-18ページ）。
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙のサイズと、ユーザモードの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」で設定された用紙のサイズが一致しません。このメッセージは、レポートや受信ファクスを印刷するときに表示されることがあります。	正しいサイズの用紙をセットするか、ユーザモードの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」の設定を変更してください（→「ユーザーズガイド」）。そのあと、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾍﾝｺｳ	用紙サイズの設定が正しくありません。	用紙サイズをレター、リーガル、A4、B5、またはA5のいずれか適切なサイズに設定し、そのサイズの用紙をセットしてください。正しい用紙サイズが設定されると、受信したファクスの印刷が自動的に開始されます。 手動レポート出力時に、このメッセージが出たときは、用紙サイズをレター、リーガル、A4のいずれか適切なサイズに設定してください。

ファクスが使えない

ファクス送信でのトラブル

ファクスを送信できない

本機が過熱状態になっている

- 電源コンセントから電源コードのプラグを抜き、約10分待って本機の温度を下げてください。その後、プラグを差し込んで、もう一度送信してください。

電話回線の種類（プッシュ回線またはダイヤル回線）が正しく設定されていない

- 電話回線の種類を正しく設定してください（→2-8ページ）。

原稿が正しくセットされていない

- 原稿を取り出し、原稿台ガラスまたはADFに正しくセットしてください。複数ページの原稿をADFにセットする場合は、原稿の端をきちんとそろえてください（→「ユーザーズガイド」）。
- ADFが閉じていることを確認してください。

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス/電話番号が正しく登録されていない

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルが正しく登録されているか確認してください（→「3章 スピードダイヤルの登録」）。

間違った番号をダイヤルした

- 番号を確認して、もう一度ダイヤルしてください。

送信先のファクス機器に用紙がない

- 相手先に連絡し、用紙をセットしてもらってください。

メモリから別の原稿を送信している

- 送信が終了するまでお待ちください。

送信時にエラーが発生した

- 通信管理レポートを印刷して、内容を確認してください（→8-2ページ）。

電話回線に問題がある

- 本機に接続している電話の受話器を取って、発信音が聞こえるかどうか確認してください。聞こえないときは、最寄りの電話会社に連絡してください。

送信先のファクス機器がG3に対応していない

- 送信先のファクス機器がG3に対応しているか確認してください。

送信先のファクス機器が使用中か、電源が入っていない
エラー送信レポートに「話し中でした」と表示される

- 送信先のファクス機器が使用中の場合は、しばらく待ち、もう一度送信してください。
- 送信先に連絡して、ファクス機器が正しく作動しているか点検してもらってください。

自動リダイヤル後、55秒以内に送信先のファクスが応答しない

- 送信先に連絡してファクスを点検してもらってください。海外へ送信するときは、ポーズを入れてください（→7-1ページ）。

通信中/メモリランプが点滅する

- 通信中/メモリランプは、ファクスを送受信しているとき、および本機に接続している電話機が使用中のときに点滅します。電話機が使用中のときは、通話が終わるまで待ち、もう一度送信してください。
- 電話機が使用されていない場合は、メモリ内の他の原稿が送信されています。送信が終わるまで待ち、もう一度送信してください。

▮ 送信したファクスが汚れている

送信先のファクス機器が原因である可能性がある

- 本機でコピーしてみてください（→「ユーザーズガイド」）。きれいにコピーできれば、送信先のファクス機器が原因と思われます。コピーが汚れていたときは、本機の原稿台ガラスや読み取り部を清掃してください（→「ユーザーズガイド」）。

原稿が正しくセットされていない

- 原稿を取り出し、原稿台ガラスまたはADFに正しくセットしてください。複数ページの原稿をADFにセットする場合は、原稿の端をきちんとそろえてください（→「ユーザーズガイド」）。

▮ ECMで送信できない

送信先のファクス機器がECMに対応していない

- 送信先のファクス機器がECMに対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで送信されます。

「ECM送信（ECM ｿｳｼﾝ）」が「ｼﾅｲ」に設定されている

- 「ECM ｿｳｼﾝ」の設定を確認してください（→10-6ページ）。

▮ 送信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない

- 送信開始速度（ｿｳｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ）の設定を遅くしてみてください（→10-4ページ）。

ファクス受信でのトラブル

▮ 自動でファクスを受信できない

自動受信に設定されていない

- ファクスを自動的に受信するには、受信モードを「FAX/TEL」、「ｼﾞﾄﾞｳ」、または「ﾙｽTEL」に設定してください（→「5章 ファクスを受信する」）。「ﾙｽTEL」に設定しているときは、留守番電話機が本機に接続され、応答メッセージが正しく録音されているか確認してください。

メモリがいっぱいになっている

- メモリ内の原稿を印刷または削除して、メモリを空けてからもう一度送信してもらってください（→4-18ページ）。

受信中にエラーが発生した

- 通信管理レポートを印刷して、内容を確認してください（→8-2ページ）。

カセットに用紙がセットされていない

- 用紙がカセットにセットされているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

モジュラージャックコードが正しく接続されていない

- モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

電話とファクスの受信が自動的に切り替わらない

電話とファクスの受信が自動的に切り替わるように設定されていない

- 自動的に切り替えるには、受信モードを「FAX/TEL」または「ルスTEL」に設定する必要があります（→「5章　ファクスを受信する」）。
  「ルスTEL」に設定しているときは、留守番電話機が本機に接続されていること、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

送信側のファクス機器がCNG信号（ファクスであることを示す信号）を送れない

- CNG信号を送れないファクス機器もあります。
  その場合は、手動でファクスを受信してください（→5-5ページ）。

手動でファクスを受信できない

受話器を戻した後に、スタートキーを押したか、リモート受信IDをダイヤルしたので電話が切れてしまった

- **スタート**キーは受話器を戻す前に押してください。リモート受信のID番号も、受話器を戻す前にダイヤルします。順序を逆にすると、電話が切れてしまいます。
- 電話回線がダイヤル回線のときは、リモート受信のID番号（25）をダイヤルする前に、電話機でプッシュ信号に切り替えてください（→7-2ページ）。

受信したファクスの画質が悪い

本機の条件に合わない用紙がセットされている

- 適切な用紙をカセットまたは手差しトレイにセットしてください（→「ユーザーズガイド」）。

送信側のファクス機器に原因がある

- ファクスの画質は、通常、送信側のファクスによって決まります。送信側に連絡して、読み取り部が汚れていないか確認してもらってください。

ECMが無効になっている

- ECM受信を「スル」に設定してください（→10-6ページ）。

ファクスが印刷されない

カートリッジが正しく取り付けられていない

- カートリッジが正しく取り付けられているか確認してください（→「ユーザーズガイド」）。

カートリッジ内のトナーの残量が少なくなっている

- 「カートリッジ交換の目安」を参照して、必要な場合は新しいカートリッジと交換してください。（→「ユーザーズガイド」）。
- 新しいカートリッジが手元にない場合は、ユーザモードの「ファクス　キノウ　セッテイ」で、「インジ゛ ケイゾ゛ク」を「スル」に設定します。
  この設定を選ぶと、トナーが切れても原稿はメモリに保存されず、印刷がそのまま継続されます（→10-8ページ）。なるべく早く新しいカートリッジを入手することを推奨します。

カセットに用紙がセットされていない

- カセットが空になっていないかどうか確認してください（→「ユーザーズガイド」）。

正しいサイズの用紙がセットされていない

- 「ヨウシ　サイズ゛　エラー」あるいは「ヨウシサイズ゛　ヘンコウ」が表示される場合は、正しいサイズの用紙をセットするか、ユーザモードの「ヨウシ　サイズ゛」の設定を用紙サイズに合わせて変更してください（→「ユーザーズガイド」）。

■ 画像の印刷にしみやむらがある

電話回線や接続の状態がよくない

- ECMで受信してみてください（→10-6ページ）。電話回線の状態がよくない場合は、受信開始速度（ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ）の設定を遅くします（→10-4ページ）。その後、もう一度送信してもらってください。

送信側のファクスに原因がある

- ファクスの画質は、通常、送信側のファクスによって決まります。送信側に連絡して、読み取り部が汚れていないか確認してもらってください。

■ ECMで受信できない

送信元のファクス機器がECMに対応していない

- 送信元のファクス機器がECMに対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで受信されます。

「ECM受信（ECM ｼﾞｭｼﾝ）」が「ｼﾅｲ」に設定されている

- 「ECM ｼﾞｭｼﾝ」を「ｽﾙ」に設定してください（→10-6ページ）。

■ 受信中にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない

- 受信開始速度（ｼﾞｭｼﾝ ｽﾀｰﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ）の設定を遅くしてみてください（→10-4ページ）。

送信側のファクスに原因がある

- 送信側に連絡して、ファクス機器が正しく作動しているか確認してもらってください。

電話が使えない

■ ダイヤルできない

モジュラージャックコードが正しく接続されていない

- モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

電話回線の種類（プッシュ回線またはダイヤル回線）が正しく設定されていない

- 電話回線の種類を正しく設定してください（→2-8ページ）。

■ 通話が切断される

モジュラージャックコードが正しく接続されていない

- モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

予期せず電源が切れたとき

停電や誤って電源コードを電源コンセントから抜いてしまった場合でも、内蔵されている電池によりユーザデータやスピードダイヤルの設定は保持されます。メモリに保存されている送受信原稿は、約1時間経過すると消去されます。
電源が切れると、次のような状態になります。

- ファクスの送受信やコピーはできません。
- オプションのハンドセットを取り付けている場合、ハンドセットで電話をかけることはできません。また、本機に電話機を接続している場合も、機種によっては、電話をかけることはできません。
- オプションのハンドセットや、本機に接続している電話機で、電話を受けることはできます。

電源が切れたときにメモリから消去された原稿がある場合は、電源を入れたときにメモリクリアリストが自動的に印刷されます。

2003 01/17 15:00 FAX 03 3758 2111　　キヤノン ホンシャ　　001

****
*** メモリクリアリスト ***
****

次の通信予約またはメモリはクリアされました

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻	開始時刻
0041	送信	[* 02] キヤノン ハンバイ キョウト	3	01/17 14:40	
0042	同報送信	[* 01] キヤノン ハンバイ モリオカ [01] キヤノン ハンバイ	1	01/17 14:45	

- カセットにA4、レター、リーガル以外のサイズの用紙がセットされているときは、メモリクリアリストは印刷されません。
- 電源が入ったときにカセットに用紙がセットされていないときや、カートリッジ内のトナーが切れているときは、メモリクリアリストは印刷されません。

どうしても問題が解決しないとき

問題が発生してこの章とユーザーズガイドの「8章　困ったときには」の説明に従って対処してみても、どうしても解決しなかったときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターへのお問い合わせについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。

10章

ユーザモードの設定

ユーザモードの設定のしかた

ユーザモードのメニューを使って、本機の機能を設定できます。ご利用いただけるメニューと表示は、お使いのモードによって異なります。ここでは、ファクスモードのメニューについて説明します。

- ファクスモードとコピーモードで共通のメニューと、コピーモードのメニューについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。
- 設定を変更する前に、ユーザデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます（→2-7ページ）。

メニューを表示する

1 **ユーザモード**キーを押します。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して変更するメニューを選び、**OK**キーを押します。

例：
```
トウロク/セッテイ
  4.ファクス キノウ セッテイ
```

例：
```
ファクス キノウ セッテイ
  1.キホン セッテイ
```

3 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、変更するサブメニューを選びます。

例：
```
ファクス キノウ セッテイ
  2.レポ゜ート セッテイ
```

4 **OK**キーを押します。

例：
```
レポ゜ート セッテイ
  1.ソウシンケッカ レポ゜ート
```

- サブメニューの詳細については、10-2～10-11ページを参照してください。
- ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーで選択した後、**OK**キーを押して決定します。
- **OK**キーを押す前に**ストップ/リセット**キーを押すと、選択した設定は登録されません。
- **ストップ/リセット**キーを押すと、メニューの設定が終了します。
- **ユーザモード**キーを押すと、1つ上のメニューに戻ります。

メニュー設定一覧表

メモ

- 現在の設定は、ユーザデータリストを印刷すればチェックできます（→2-7ページ）。

用紙設定（1．ヨウシ　セッテイ）

詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください。

共通機能設定（2．キョウツウ　キノウ　セッテイ）

項目名	内容
1．ショキ　モード	電源を入れたときやオートクリア*が働いたとき、スタンバイ表示をコピーモードとファクスモードのどちらにするかを選びます。
コピー	コピーのスタンバイモードになります。
ファクス	ファクスのスタンバイモードになります。
2．オートクリアゴ　ノモード　キリカエ	オートクリア*が働いたとき、「ショキ　モード」で選んだスタンバイモードに戻すかどうかを選びます。
ショキモード　ニ　モドス	オートクリア*が働いたとき、「ショキ　モード」で選んだモードに切り替わります。
ショキモード　ニ　モド　サナイ	オートクリア*が働いたとき、「ショキ　モード」で選んだモードに切り替わりません。
3．オンリョウ　チョウセイ	音量を設定します。
1．キー　タッチ　オンリョウ	操作パネルのキーを押したときの音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　1、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。
2．アラーム　オンリョウ	オフフックアラーム音の音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　1、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。
3．ソウシン　シュウリョウオンリョウ	ファクス送信が終了したときの通知音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　1、2、3」から選びます。
エラージ　ノミ　ナラス	エラーが発生したときのみ鳴らします。「オンリョウ　1、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。

*（→「ユーザーズガイド」）

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
4．ジ゛ュシン　シュウリョウオンリョウ	ファクス受信が終了したときの通知音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
エラージ゛　ノミ　ナラス	エラーが発生したときのみ鳴らします。 「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。
5．フ゜リント　シュウリョウオンリョウ	印刷が終了したときの通知音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
エラージ゛　ノミ　ナラス	エラーが発生したときのみ鳴らします。 「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。
6．ヨミトリ　シュウリョウ　オンリョウ	原稿の読みこみが終了したときの通知音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
エラージ゛　ノミ　ナラス	エラーが発生したときのみ鳴らします。 「オンリョウ　**1**、2、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。
7．ヨビ゛ダ゛シ　オンリョウ	呼び出し音の音量を設定します。 「オンリョウ　1、**2**、3」から選びます。
8．ツウシン　オンリョウ	回線モニターの音量を設定します。
ナラス	「オンリョウ　1、**2**、3」から選びます。
ナラサナイ	音が鳴りません。

（**太字**：初期設定）

- 共通機能設定の「4．ノウド゛セッテイ」、「5．トナーセーブ゛モード゛」については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

コピー機能設定（3．コピ゜ー　シヨウ　セッテイ）

詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください。

ファクス機能設定（4. ファクス　キノウ　セッテイ）

項目名	内容
1. キホン　セッテイ	ファクスモードの基本機能を設定します。
1. デ゛ンワ　カイセン　セッテイ	電話回線を設定します。
1. ユーザ゛ TEL	本機のファクス/電話番号を、スペースを含めて20桁以内で登録します（→2-5ページ）。
2. カイセン　シュルイ　センタク	電話回線に合わせて設定します（→2-8ページ）。
ダ゛イヤル　カイセン	ダイヤル回線（パルス回線） ダ゛イヤル　スピ゜ード゛　センタク：「**20PPS**」、「10PPS」から選びます。
プ゜ッシュ　カイセン	プッシュ回線（トーン回線）
3. ソウシン　スタート　スピ゜ード゛	ファクスの送信スピードを設定します。 **33600bps**/14400bps/9600bps/7200bps/4800bps/2400bps
4. ジ゛ュシン　スタート　スピ゜ード゛	ファクスの受信スピードを設定します。 **33600bps**/14400bps/9600bps/7200bps/4800bps/2400bps
2. ユーザ゛　リャクショウ　トウロク	あなたの名前（または会社名）を、スペースを含めて24文字以内で登録します（→2-5ページ）。
3. ハッシンモト　キロク	送信するファクスの各ページに発信元情報を印刷するかしないかを設定します（→2-4ページ）。
ツケル	発信元情報をつける。この設定を選んだときは、さらに次の設定を行えます。
1. ハッシンモト　キロク　イチ	**ガ゛ゾ゛ウノ　ソトニ　ツケル**：画像領域の外側に印刷します。 ガ゛ゾ゛ウノ　ナカニ　ツケル：画像領域内に印刷します。
2. デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　マーク	番号の前につけるマークを設定します。 **FAX**：番号の前にFAXをつけます。 TEL：番号の前にTELをつけます。
ツケナイ	発信元情報をつけません。
4. ヨミトリ　ノウド゛　セット	送信する原稿の読み取り濃度を設定します。9段階の濃度があります。**濃度**キーを押したときの設定です。
1. ウスク	濃い原稿のときに選びます。濃い原稿の読み取り濃度は4段階で調整できます。（**右から7番目**）
2. フツウ	普通の原稿のときに選びます。普通の原稿の読み取り濃度は3段階で調整できます。（**右から5番目**）
3. コク	薄い原稿のときに選びます。薄い原稿の読み取り濃度は4段階で調整できます。（**右から3番目**）
5. オフフックアラーム	手動で送受信後、電話の受話器が外れているときに、警告音を鳴らすかどうかを設定します。
スル	警告音を鳴らします。
シナイ	警告音を鳴らしません。

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
2. レポ゜ート セッテイ	レポートの設定をします。
1. ソウシンケッカ レポ゜ート	送信するファクスの送信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
プ゜リント シナイ	印刷しません。
エラーシ゛ ノミ プ゜リント	エラーが発生したときのみ印刷します。
ソウシン ガ゛ゾ゛ウ	送信結果レポートにファクスの最初のページをつけるかどうかを選びます。
ツケル	最初のページをつけて印刷します。
ツケナイ	最初のページをつけないで印刷します。
プ゜リント スル	送信するたびに印刷します。
ソウシン ガ゛ゾ゛ウ	送信結果レポートにファクスの最初のページをつけるかどうかを選びます。
ツケル	最初のページをつけて印刷します。
ツケナイ	最初のページをつけないで印刷します。
2. シ゛ュシンケッカ レポ゜ート	受信するファクスの受信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
プ゜リント シナイ	印刷しません。
エラーシ゛ ノミ プ゜リント	エラーが発生したときのみ印刷します。
プ゜リント スル	受信するたびに印刷します。
3. ツウシンカンリ レポ゜ート	送受信が20回行われるごとに、通信管理レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
スル	印刷します。
シナイ	印刷しません。

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
3．ソウシン　キノウ　セッテイ	送信機能を設定します。
1．ECM　ソウシン	ECMモードで送信するかどうかを設定します。
スル	相手先のファクス機器がECMに対応しているときは、常にECMモードで送信します。
シナイ	ECMモードは使いません。
2．ポーズ　ジカン　セット	ダイヤル中にリダイヤル/ポーズキーを押して入力するポーズの長さを設定します。 「01～15ビョウ」から選びます。（**02ビョウ**）
3．ジドウ　リダイヤル	相手が通話中のときに自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。
スル	リダイヤルします。
1．リダイヤル　カイスウ	何回までリダイヤルするかを指定します。 「01～15カイ」から指定します。（**02カイ**）
2．リダイヤル　カンカク	リダイヤルの間隔を指定します。 「02～99フン」から指定します。（**02フン**）
シナイ	リダイヤルしません。
4．ダイヤルタイムアウト	スピードダイヤルまたはリダイヤルを使ってファクス番号をダイヤルした場合、自動的に原稿を読みこむかどうかを設定します。また、テンキーでダイヤルし、**OK**キーを押した後、自動的に原稿を読みこむかどうかもこの設定に応じて決まります。
スル	ファクス番号をダイヤルすると、5秒または10秒以内に読みこみを開始します。
シナイ	スタートキーを押すまで読みこみを開始しません。キーを押さないで2分間経過すると、スタンバイモードに戻ります。
5．ダイヤルジ　カイセンカクニン	使用する電話回線の状況を確認してからファクス送信を開始するかどうか選択します。「**スル**」に設定した場合、回線状況に応じて電話電話番号のダイヤル操作を行うため、相手機と正常に通信することができます。通常は「**スル**」に設定してください。
スル	送信時に回線状況を確認してからダイヤル操作を開始します
シナイ	送信時に回線状態を確認しません。お使いの電話回線がNTT以外（内線同士の通信等）の場合には「シナイ」に設定してください。この場合「**スル**」に設定すると、送信エラーの原因になることがあります。
4．ジュシン　キノウ　セッテイ	受信機能を設定します。
1．ECM　ジュシン	ECMモードで受信するかどうかを設定します。
スル	送信元のファクス機器がECMに対応しているときは、常にECMモードで受信します。
シナイ	ECMモードは使いません。

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
2．F／T　ショウサイ　セッテイ	FAX/TEL受信モードのときに、詳細設定ができます。
1．ヨビ゛ダ゛シ　カイシ　ジ゛カン	着信が電話なのかファクスなのかを、呼び出し音を鳴らす前に本機が判断する時間を指定します。 「00～30ビ゛ョウ」から指定します。（**08ビ゛ョウ**）
2．ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛カン	呼び出し音を鳴らす時間を指定します。 「015～300ビ゛ョウ」から指定します。（**017ビ゛ョウ**）
3．ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ　ド゛ウサ	**ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛カン**で設定した呼び出し時間の経過後に、ファクスを受信するかどうかを設定します。
ジ゛ュシン	自動的にファクス受信モードになり、ファクスを受信します。
シュウリョウ	電話を切ります。
3．チャクシン　ヨビ゛ダ゛シ	自動受信モードのとき、呼び出し音を鳴らすかどうかを設定します。
シナイ	ファクス受信時に呼び出し音を鳴らさない。（節電モードになっているときは、呼び出し音が1～2回鳴ることがあります。）
スル	電話機が本機に接続されている場合、ファクス受信時に呼び出し音を鳴らします。
ヨビ゛ダ゛シ　カイスウ	自動受信を開始するまでに、呼び出し音を鳴らす回数を指定します。 「01～99カイ」から選びます。（**02カイ**）
4．ジ゛ド゛ウ　ジ゛ュシン　キリカエ	手動受信モードのときに、ファクスを自動的に受信するかどうかを設定します。
シナイ	ファクスを受信しない。本機に接続されている電話機で応答するまで、呼び出し音が鳴りつづけます。
スル	呼び出し音を指定された時間鳴らした後、ファクスを受信します。
ヨビ゛ダ゛シ　ジ゛カン	ファクスを受信するまでの呼び出し時間を指定します。 「01～99ビ゛ョウ」から指定します。（**15ビ゛ョウ**）
5．リモート　ジ゛ュシン	リモート受信するかどうかを設定します（→5-5ページ）。
スル	リモート受信します。
リモート　ジ゛ュシン　ID	本機に接続した電話機から入力し、ファクス受信を開始するためのID番号です。リモート受信IDは、0～9、*、#を使った2桁の組み合わせに変えることができます。（**25**）
シナイ	リモート受信しません。

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
5．プ゜リント　セッテイ	印刷機能を設定します。
1．ガ゛ゾ゛ウ　シュクショウ	用紙のサイズに合わせて画像を縮小するかどうかを設定します。
スル	縮小します。
1．シュクショウ　モード゛　センタク	縮小するモードを選びます。 **ジ゛ド゛ウ**：サイズを自動で縮小します。 コテイ：「97%」、「95%」、「**90%**」、「75%」から選択したサイズに縮小します。
2．シュクショウ　ホウコウ　センタク	縮小する方向を選びます。 **タテ　ノミ**：縦方向のみ縮小します。 タテ　ヨコ　トモ：縦、横の両方を縮小します。
シナイ	縮小しません。
2．インジ゛　ケイゾ゛ク	トナーの残量がなくなり、「カートリッジ゛ガ゛　カラニ　ナリマシタ」と表示された場合に、印刷を続けるかどうかを設定します。
スル	印刷を続けます。新しいカートリッジが手元にないときに便利ですが、トナーが切れても代行受信しなくなります。カートリッジを交換したら、設定を「シナイ」に戻してください。
シナイ	受信したファクスをメモリに保存します。
6．ポ゜ーリング゛　ボ゛ックス	ポーリングボックス機能を設定します。
1．サクセイ	ポーリングボックスを作成します。
1．ボ゛ックス　メイショウ	ポーリングボックスの名前を、スペースを含めて24文字以内で登録します。
2．アンショウバ゛ンゴ゛ウ	ポーリングボックスの暗証番号（最大7桁）を登録します。ポーリングボックスの変更または削除をするときに必要です。
3．ソウシンゴ゛ノ　ゲ゛ンコウ　クリア	ポーリング送信した原稿を削除するかどうかを設定します。
スル	送信後の原稿を削除します。
シナイ	送信後の原稿をポーリングボックス内に保存します。
2．ヘンコウ	ポーリングボックスの設定を変更します。
1．ボ゛ックス　メイショウ	ポーリングボックスの名前を変更します。
2．アンショウバ゛ンゴ゛ウ	暗証番号を変更します。
3．ソウシンゴ゛ノ　ゲ゛ンコウ　クリア	ポーリング送信した原稿を削除するかどうかを設定します。
スル	送信後の原稿を削除します。
シナイ	送信後の原稿をポーリングボックス内に保存します。
3．トリケシ	ポーリングボックスとその設定をすべて削除します。

（**太字**：初期設定）

項目名	内容
7．システム　カンリ　セッテイ	スタンバイモードに戻ったときの状態を設定します。
1．FAXホームポ゜ジ゛ション	ファクスのスタンバイ状態を設定します。
1．カイゾ゛ウド゛	解像度を選びます。
シナイ	スタンバイモードに戻っても、**画質**キーで設定した解像度は変わりません。
ヒョウジ゛ュン	通常の文字原稿に適しています。
ファイン	細かい文字原稿に適しています。
シャシン	写真を含む原稿に適しています。
スーパ゜ーファイン	細かい文字原稿や線画原稿に適しています（「ヒョウジ゛ュン」の4倍の解像度）。
ウルトラファイン	細かい文字原稿や線画原稿に適しています（「ヒョウジ゛ュン」の8倍の解像度）。
2．ヨミトリ　ノウド゛	読み取り濃度を設定します。「ウスク」、「フツウ」、「コク」に設定した場合、「キホン　セッテイ」の「ヨミトリ　ノウド゛セット」で設定した読み取り濃度になります。
シナイ	スタンバイモードに戻っても、**濃度**キーで設定した読み取り濃度は変わりません。
ウスク	濃い原稿のときに選びます。
フツウ	普通の原稿のときに選びます。
コク	薄い原稿のときに選びます。
3．ブ゛ックソウシン　ヨミトリサイズ゛	**ブック送信**キーを押さずに原稿台から原稿を読みこみたいときに設定します。
シート	原稿台に原稿をセットしてダイヤルしても、「ゲ゛ンコウヲ　セット　シテクダ゛サイ」と表示され、ADFに原稿をセットしないと読みこまれません。（原稿台から読みこむときは、**ファンクション**キーを押したあと**ブック送信**キーを押します。）
A4	原稿台にセットした原稿を全てA4で読みこみます。
A5	原稿台にセットした原稿を全てA5で読みこみます。

（**太字**：初期設定）

宛先登録（5. アテサキ　トウロク）

項目名	内容
1. ワンタッチ　ダ゛イヤル	ワンタッチダイヤルを登録します（→3-2ページ）。30件まで登録できます。
ワンタッチ　ダ゛イヤル	ワンタッチダイヤルキーの番号を指定します。
1. デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	相手先の電話番号を、スペースを含めて120桁以内で登録します。
2. ナマエ	相手先の名前を、スペースを含めて16文字以内で登録します。
2. タンシュク　ダ゛イヤル	短縮ダイヤルを登録します（→3-5ページ）。100件まで登録できます。
タンシュク　ダ゛イヤル	短縮ダイヤル番号を指定します。
1. デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	相手先の電話番号を、スペースを含めて120桁以内で登録します。
2. ナマエ	相手先の名前を、スペースを含めて16文字以内で登録します。
3. グ゛ループ゜　ダ゛イヤル	グループダイヤルを登録します（→3-8ページ）。グループを129件まで登録できます。
1. デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ	相手先の電話番号を、ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号を使って登録します。
2. ナマエ	グループの名前を、スペースを含めて16文字以内で登録します。

プリンタ設定（6．プ゜リント　セッテイ）

詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください。

タイマー設定（7．タイマー　セッテイ）

詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください。

リストの印刷（8．リスト　プ゜リント）

項目名	内容
1．ユーザ゛デ゛ータ	ユーザモードで設定または登録された項目のリストを印刷します。
2．ダ゛イヤルリスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録した宛先リストを印刷します（→3-10ページ）。
1．ワンタッチ　ダ゛イヤルリスト1	ワンタッチダイヤルリストを印刷します。
1．ソート　シナイ	ワンタッチダイヤル番号順に印刷します。
2．ソート　スル	名前順に印刷します。
2．タンシュク　ダ゛イヤルリスト1	短縮ダイヤルリストを印刷します。
1．ソート　シナイ	短縮ダイヤル番号順に印刷します。
2．ソート　スル	名前順に印刷します。
3．グ゛ループ゜　ダ゛イヤルリスト	グループダイヤルリストを印刷します。
3．レポ゜ート　チュウシ	リスト出力を中止します。印刷を中止するリストを選びます。
レポ゜ートヲ　チュウシ　シマスカ?	
ハイ	リスト出力を中止します。
イイエ	リスト出力を中止しません。

付　録

仕　様

仕様は予告なく変更されることがあります。

ファクス仕様

■ 適用回線
加入電話回線（PSTN）

■ 直流抵抗値
約330 Ω*
*電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700 Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては通信できないことがあります。このようなときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 互換性
G3

■ データ圧縮方式
MH、MR、MMR、JBIG

■ 通信速度
33.6/31.2/28.8/26.4/24/21.6/19.2/16.8/14.4/12/9.6/7.2/4.8/2.4 Kbps
自動フォールバック

■ 送信速度
33.6 Kbpsで約3秒/ページ*、
ECM-MMR、メモリから送信
*キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

■ スキャン画像処理
UHQ™による超高品質画像処理

■ 送受信メモリ
送信：最大約250ページ*
受信：最大約250ページ*
*キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

■ ファクス読み取り速度
約3.7秒/ページ*
*キヤノンFAX標準チャートNo.1

■ ファクス解像度
標準：8 pels/mm×3.85本/mm
ファイン：8 pels/mm×7.7本/mm
スーパーファイン：8 pels/mm×15.4本/mm
ウルトラファイン：16 pels/mm×15.4本/mm

■ ダイヤル機能
- スピードダイヤル
  - ワンタッチダイヤル（30送信先）
  - 短縮ダイヤル（100送信先）
  - グループダイヤル（最高129送信先まで）
  - 電話帳ダイヤル（電話帳キー）
- 通常ダイヤル（テンキー）
- 自動リダイヤル
- 手動リダイヤル（リダイヤル/ポーズキー）

■ 送受信の機能
- 同報送信（最高140送信先まで）
- 自動受信
- FAX/TEL自動切り替え受信
- 電話機によるリモート受信（工場出荷時のリモート受信ID：25）
- 着信音なしの受信
- ECMの有効
- 通信管理レポート（20通信ごとに印刷）
- エラー送受信レポート
- 発信元情報
- ポーリング送受信
- タイマー送信

電話機仕様

■ 接続
電話機/留守番電話機（CNG検出信号）/データモデム

索　引

記号、英数字

あ

い

う

え

お

か

き

せ

そ

た

ち

つ

て

と

の

は

ひ

ふ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

り

れ

わ

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間] ＜平日＞ 9:00〜20:00 ＜土日祝日＞10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

デジタル複合機の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM〜5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿QRセンターの営業時間は10:00AM〜6:00PM、休業日は 日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取り扱いを致しております。

お願い：デジタル複合機のお取り扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

（ 北 海 道 地 区 ）

※札幌サービスセンター	TEL 011(728)0665	〒060-8522 北海道札幌市北区北7条西1－1－2 SE山京ビル1F

（ 東 北 地 区 ）

※仙台QRセンター	TEL 022(217)3210	〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3－6－1 仙台パークビルヂング1F

（ 東 京 ・ 神 奈 川 ・ 関東 ・ 山 梨 地 区 ）

東京QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3837)2961	〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F
新宿QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3348)4725	〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜QRセンター（持込のみ）	TEL 045(312)0211	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2－6－26 HI横浜ビル2F
東日本修理センター（持込のみ）	TEL 043(211)9032	〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1－7－2 キヤノンMJビル1F
※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）	TEL 0297(35)5000	〒306-0605 茨城県坂東市馬立1234 F7棟3F

関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。

（ 中 部 ・ 北 陸 地 区 ）

※名古屋QRセンター	TEL 052(939)1830	〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2－2－1 高岳パークビル1F

（ 近 畿 地 区 ）

※大阪QRセンター	TEL 06(6459)2565	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島6－1－21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F

（ 中 国 ・ 四 国 地 区 ）

広島サービスセンター（持込のみ）	TEL 082(240)6712	〒730-0051 広島県広島市中区大手町3－7－5 広島パークビルヂング1F

（ 九 州 地 区 ）

※福岡QRセンター	TEL 092(411)4173	〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1－2－1 キヤノンMJ福岡ビル1F

2006年6月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　＜平日＞ 9:00～20:00
＜土日祝日＞ 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

HT1-1155-000-V.2.0

PRINTED IN CHINA OR KOREA